

授業科目名	【新カリ】教育原理		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	牛尾 直行			
科目担当者	牛尾 直行			
授業概要				
【授業全体の内容】 本授業は、現代教育に関する基礎的で理論的な知識および原理を系統的に学び、それを踏まえた上で現代の教育課題に対する考察を深めることを目的とする。教育に関するミニマム・エッセンシャルズをひろく学ぶことで、それが現代の教育課題および自分自身の教育経験とどのようにつながっているのか、各受講者がそれぞれ考えながら受講し、教育学の基礎を学ぶ。				
【授業の到達目標】 1．教育に関する思想・歴史・制度概略が理解できる。 2．人間の成長や学びについて、理論的に説明できる。 3．自らが受けてきた教育について振り返り、客観視できる。 4．以上を通して、将来教員になる者としての教育観の基礎をつくることことができる。				
成績評価				
【成績評価の基準】 1．教育に関する思想・歴史・制度の概略を自分の言葉で説明できるか、定期試験で評価する。 2．GWで様々な課題を自らの問題として考察し、積極的に解決策を考察できたか、シャトルカードなどから評価する。 3．講義や自主学習から得た知識や課題を深めることができたか、複数の課題提出物から評価する。				
【成績評価の方法】 定期試験30%、毎回の授業時のシャトルカードやGW時の提出物40%、課題30%で総合的に評価する。				
履修における留意事項				
【履修要件】 本科目は教育実習に行く前に必ず単位取得していなければいけない教職ハードル科目である。				
【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 通常の課題についてのフィードバックについては講義内で解説する。				
【テキスト・参考書等】 『実践に活かす教育基礎論・教職論』（牛尾他編著、学事出版、2014年） 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 中学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 総則編（平成30年7月 文部科学省）				
連絡先とオフィスアワー				
【連絡先】 担当：牛尾 直行（1号館2F1220 教育学研究室） E-mail：n-ushio@juntendo.ac.jp				
【オフィスアワー】 月曜～木曜のお昼休み				
備考				
【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。				
【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育の基礎的理解に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想				
授業計画 【授業内容と準備学修等】				
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -	

1	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：本授業の導入、教育とは？ 無意図的教育と意図的教育、フォーマル教育とインフォーマル教育、狼に育てられた子等について学び、人間の成長と学びについてその概要と課題を理解・説明することによって、本講義の学習課題について整理する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(復習：1時間) 指定するテキストを購入し用意すること。テキストとノートを読み直して授業内容の復習をすること。</p>
2	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：教育の目的 教育の目的について多方面から考察するため、公教育の成立、3R's、社会化、実質陶冶・形式陶冶、教育基本法第1条などを学び、自分たちが受けてきた公教育の目的について考察する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：1時間) テキストのp.14～23を予め読んでおくこと。 (復習：2時間) 配布するプリントの空欄補充をして、次週に提出すること。</p>
3	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：子ども観の変遷 中世ヨーロッパと近世日本の子ども観、『子供の誕生』、母性、近代家族、子育ての慣習等について学び、「大人になること」をどう説明できるか考える。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.24～37を予め読んでおくこと。 (復習：2時間) URLを指定したVTRを視聴し、レポート課題を作成する。</p>
4	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：古代から近代にいたるまでの西洋教育の思想 ソクラテス、プラトン、コメニウス、ロック、ルソーらの教育思想を学び、現代教育学の思想の源流について理解し、それが現代の教育とどのようにつながっているのか考察する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.38～45を予め読んでおくこと。 (復習：2時間) 講義終了時に示す課題を次週授業までに提出すること。</p>
5	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：近代以降の西洋教育の思想 ペスタロッチ、ヘルバルト、フレーベル、デューイらの教育思想を学び、それが現代の教育課題とどのようにつながっているのか考察する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.46～53を予め読んでおくこと。 (復習：2時間) URLを指定したVTRを視聴し、レポート課題を作成する。</p>

6	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：現代日本の教育制度原理と教育法規 現代日本の教育制度・法規は、教育を受ける権利をどのように保障しようとしているのか、義務・無償・中立の原理や様々な教育法規から考察する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.56～67を予め読んでおくこと。 (復習：3時間) 配布するプリントの空欄補充をして、次週に提出すること</p>
7	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：現代日本の教育行政と学校制度 教育行政の独立主義・法律主義・地方分権主義、文科省・審議会、教育委員会・総合教育会議、教育段階と学校の種類などについて学び、公教育を成立させている条件について考察する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.68～83を予め読んでおくこと。 (復習：3時間) 最近(1年以内)の新聞記事から教育行政に関する記事を探し、それをもとに課題を作成する。</p>
8	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：現代日本の少子化と就学前教育 戦後日本の少子化の推移、合計特殊出生率、幼稚園と保育所の違い、子育て支援政策などを学び、日本の少子化と就学前教育について考察する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.83～85を予め読んでおくこと。 (復習：3時間) 就学前教育機関に関する新聞記事を読み、課題を作成する。</p>
9	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：現代日本の義務教育 今の小学校・中学校段階の教育課題をいくつか取り上げ、論じる。例えば不登校が毎年十数万人に及ぶことを取り上げ、今の義務教育の課題についてディスカッションする。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.85～89を予め読んでおくこと。 (復習：3時間) 授業で取り上げたトピック以外の義務教育段階における課題を指定する図書から探し出し学ぶ</p>
10	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：高等学校教育と大学教育の課題 中高一貫教育、新しいタイプの高等学校、大学入試改革などを取り上げ、現代日本の後期中等教育・高等教育の課題を整理・認識する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.89～92を予め読んでおくこと。 (復習：3時間) 講義とディスカッションの結果を各自が復習によって深め、現代の学校制度改革についてのレポート課題を作成する。</p>

1 1	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：諸外国の学校制度と教育実践 学校系統図や学校制度の歴史的変遷、諸外国の学校制度、学力の状況などを学び、現代日本の教育制度・学校制度を歴史的・国際的に相対化して見ることができる教養を培う。 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.93～104を予め読んでおくこと。 (復習：3時間) URLを指定したVTRを視聴し、レポート課題を作成する。</p>
1 2	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：いのちの教育 幸福度の国際比較、基本的自尊感情と社会的自尊感情、考える道徳、自尊感情をいかに育むか 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う</p>	<p>(予習：2時間) 配布する予習資料を読んでくること (復習：3時間) いのちの教育を主題とした宿題を行う。</p>
1 3	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：子どもに育むべき「生きる力」とは何か ゆとりと詰め込み、個性、現代において求められる学力とは？等を学び、現代の公教育で育もうとしている力について考察する。 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 配布する資料を読んでくること。 (復習：3時間) 「生きる力」を主題とした宿題を行う。</p>
1 4	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：本講義のまとめとディスカッション 「教育とは何か？」を歴史的・思想的・法制度的に問い、テーマに沿ってディスカッションをすることにより、現代日本の教育現実を分析する視点を育む。 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 配布する資料を読んでくること。 (復習：3時間) 最終レポート「教育とは何かを～から問う」を作成する。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】教職概論		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（後期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	牛尾 直行			
科目担当者	牛尾 直行			
授業概要				
【授業全体の内容】 本授業は、教職に関する基礎的・基本的な知識や原理を系統的に取り上げ、教職の意義と役割について総合的に考察し、その理解を深める。教員養成の歴史と理念、教員の職務、現代の子どもの荒れ、学校・家庭・地域の連携と「チーム学校」、教員の研修と専門職性、いじめと子どもの人権、教員のバーンアウトとソーシャルスキル、学校安全、求められる授業力、人権教育、教員免許制度と求められる教師像などについて学び、教職の意義・役割・職務内容などを具体的に学修する。				
【授業の到達目標】 1．自らの教職への意思を明確にすることができ、自分の将来の進路として教職を認識することができる。 2．教員として働く際の様々な知識・仕組みを理解し、実践する基礎を培うことができる。 3．教職の意義や社会的な役割を認識することができる。				
成績評価				
【成績評価の基準】 1．授業で扱う服務、研修、任用などの法的な事項が理解できている。（平常点・課題） 2．教職の歴史や社会的役割について、現代的な課題と結びつけて理解できている。（平常点・課題） 3．受講者自身がどのような教員を目指すのか、その意思を明確にすることが理解できている。（平常点・課題）				
【成績評価の方法】 定期試験30%、毎回の授業時のシャトルカードやGW時の提出物50%、予復習の提出課題20%で総合的に評価する。				
履修における留意事項				
【履修要件】 本科目は教育実習に行く前に必ず単位取得していなければならない教職ハードル科目である。 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは、講義内で解説をする。 【テキスト・参考書等】 『実践に活かす教育基礎論・教職論』（牛尾他編著、学事出版、2014年） 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 中学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 総則編（平成30年7月 文部科学省） 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（教育課程研究センター）				
連絡先とオフィスアワー				
【連絡先】 担当：牛尾 直行（1号館2F1220 教育学研究室） E-mail：n-ushio@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 月～木のお昼休み				
備考				
【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習・復習学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容で構成する。1回の授業時間は100分とする。 【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育の基礎的理解に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等： 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）				
授業計画 【授業内容と準備学修等】				
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ	

1	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：先生という仕事の魅力 本講義の概要、教職とは、教職をめぐる社会的動向、魅力とやりがいについて学び、教職の魅力について明確に認識する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(復習：1時間) テキストを購入し、テキストのp.140～146を読む。 講義ノートの復習と、身近な友人と「なぜ、どんな教員になるのか？」を話し合う</p>
2	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：教員養成の歴史と理念 近代学校創設と教員養成、師範学校、戦後の教員養成、教育職員免許法を学ぶことにより、現代日本の開放制教員養成制度の特質について整理する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：1時間) テキストのp.117～118を予め読んでおくこと (復習：2時間) 視聴するVTRのURLを指定するので、それを視聴し、レポート課題を作成する。</p>
3	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：教員の種類と職務 教員とは？ 必置職、新しい職階、主任・主事、校長の権限と責任、教員の職務、校務分掌などについて学び、教員が学校経営に参画していることを整理する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.119～124を予め読んでおくこと。 (復習：2時間) 配布するプリントの空欄補充をして、次週に提出すること</p>
4	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：子どもの「新しい荒れ」と学級崩壊 学級というものの成り立ちと日本的な性格、現代日本の学級崩壊について多面的に学ぶことにより、学級経営をするという教師の役割について深く考察する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 学級崩壊とは何か、現代日本で何が起きているのか新聞や書籍で調べてくる。 (復習：2時間) 学級崩壊についての課題レポートを作成する。</p>
5	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：学校・家庭・地域社会の連携と「チーム学校」 学校は家庭や地域とどのように連携する可能性が模索されてきたかを、教育委員会、PTA、開かれた学校、地域の教育力、家庭・地域の教育力低下、「チーム学校」などから考え、教師として何が求められているのか認識する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.131～137を予め読んでおくこと。 (復習：2時間) WEBで各自が連携事例を調べ、課題レポートを作成する。</p>

6	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：教員の服務、研修と専門職性 身分上の服務・職務上の服務、研究と修養、初任者研修、10年経験者研修、社会体験研修、聖職論・労働者論・専門職論等について学び、現在教職に求められている服務と専門性の向上について説明する。 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストp.146～149、164～173を予め読んでおくこと。 (復習：2時間) テキストと講義ノートの復習をすること。</p>
7	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：いじめと子どもの人権 現代のいじめの特徴、教師の役割、いじめ防止基本法、クラスづくり、子どもの人権等について学び、いじめを防止したり止めたりする教師の役割について人権尊重の立場から考察する。 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う</p>	<p>(予習：2時間) 現代日本のいじめについて、新聞や書籍などでその現状を調べてくる。 (復習：3時間) いじめ問題解決に関するレポートを作成する。</p>
8	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：児童虐待に教師は何ができるか 児童虐待とは？ 児童虐待防止法、『凍りついた瞳』などの具体的な資料の学習を通じて、児童虐待などの家庭内で起こる問題に教師としてどう取り組めるかを認識する。 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 現代日本の児童虐待について、新聞や書籍などでその現状を調べてくる。 (復習：3時間) J-PASSで指定する課題を行い、課題レポートを作成する。</p>
9	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：教師たちの苦悩とソーシャル・スキル 精神性疾患による休職、バーンアウト、多忙さ・終わらない仕事、ソーシャル・スキル、自己メンタルチェックについて学び、教職には精神的な強さも必要であることを理解する。 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-PASSで指定する資料に目を通してくること。 (復習：3時間) 講義ノートの復習をすること。</p>
10	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：学校安全と中学校の武道必修化 学校保健安全法、懲戒・体罰、いじめ、中学校武道必修化、柔道授業の安全確保、スポーツにおける事故についてなどを学び、教師に求められる安全配慮義務について明確に認識する。 【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 学校保健安全法など、学校の安全に関する法令について調べてくること。 (復習：3時間) 視聴するVTRのURLを指定するので、それを視聴し、レポート課題を作成する。</p>

1 1	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：教師の授業力 「教える」とは？ 教材研究の大切さなどを学び、教師に求められる授業力について理解する</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 配布するプリントを読み、要点をまとめてくること。</p> <p>(復習：3時間) 教育課程に関する課題レポートを作成する。</p>
1 2	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：教職課程・教員免許・教育実習・教採試験 教員免許状の種類、大学における教職課程、欠格事由、教育実習、教員の任用、教員採用試験対策などについて学び、自らの大学生活における、教員になるための課題について明確に認識する。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.150～163を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：3時間) 指定するフォーマットに則って、卒業時までの教職課程履修の全体を確認する課題を行う。</p>
1 3	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：人権教育 日本における差別問題と同和教育、人権問題の歴史的概観、同和教育の課題を学ぶことにより、人権学習の推進者としての教師の役割を理解し、実践できるようになる。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 現代日本の同和問題について、新聞や書籍などでその現状を調べてくる。</p> <p>(復習：3時間) 同和教育課題レポートを作成する。</p>
1 4	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：本講義のまとめ 現代の日本社会における教職の意義・役割と可能性、求められる教員像をもう一度おさらいし、教職の意義と役割についての認識を深める。</p> <p>【授業方法】 スライドとテキスト・映像などを用いて講義を行う。</p>	<p>(予習：2時間) テキストのp.140～149をもう一度読み直し、自らの教職への思いをまとめてくる。</p> <p>(復習：3時間) 復習レポート「どんな教師を目指すのか」を書くことによって、自らの目指す教員像を明確にする。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】教育心理学		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	村山 憲男			
科目担当者	村山 憲男			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 教育心理学領域で提唱されている知識・理論を幅広く紹介し、現実的な教育場面に適用できることを目指す。この授業では、乳幼児や児童生徒の心身の発達過程や、学習の過程について解説する。具体的には、前半は発達のメカニズムとして基本的特徴のほかに認知・言語、社会性、道徳性などの発達を、後半は学習のメカニズムとして記憶や思考、知能、学習理論などを取り上げる。また、教育方法の実践や学習評価、主体的な学習を支える指導なども取り上げる。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 発達のメカニズムを理解し説明できる。 2. 学習のメカニズムを理解し説明できる。 3. 教育方法の実践や学習評価、主体的な学習を支える指導を理解し説明できる。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1. 発達のメカニズムを理解し説明できる。（定期試験・授業内試験・レポート） 2. 学習のメカニズムを理解し説明できる。（定期試験・授業内試験・レポート） 3. 教育方法の実践や学習評価、主体的な学習を支える指導を理解し説明できる。（定期試験・授業内試験・レポート） 4. 授業中の発言や予習・復習の取組状況によって受講態度を評価する。（平常点）</p> <p>【成績評価の方法】 定期試験（70%）、授業内試験・レポート・平常点（30%）。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 特になし。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 ノートを必ず持参すること。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 授業で解説する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年7月 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編（平成30年7月 文部科学省） ノートを必ず持参すること。資料等は必要に応じて適宜配布する。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：村山憲男 E-mail：n-murayama@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 日時：月曜日12:10から12:45 場所：授業内で伝達する。 他の学生の相談時間と重複しないようにするため、できるだけ前週までにE-mailで予約すること。</p>			
備考				

<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【実務経験のある教員による授業科目】 臨床心理士・公認心理師として、総合病院や精神科クリニックにて、15年程度の実務経験がある。また、現在は学生相談なども担当している。授業では、これらで得られた生きた知見を紹介する。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育の基礎的理解に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -
1	村山	<p>【授業内容】 オリエンテーションとして、授業の目的と概要、成績評価、履修上の注意について説明する。また、教育心理学の全体像について、最近のテーマを含めて解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>（復習：2時間） 教育心理学の全体像について、学んだ知識を整理しておく。</p>
2	村山	<p>【授業内容】 発達のメカニズムとして、運動発達と、発達の基本的特徴について解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>（予習：2時間） 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 （復習：2時間） 運動発達と、発達の基本的特徴について、学んだ知識を整理しておく。</p>
3	村山	<p>【授業内容】 発達のメカニズムとして、認知・言語の発達について解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>（予習：2時間） 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 （復習：2時間） 認知・言語の発達について、学んだ知識を整理しておく。</p>
4	村山	<p>【授業内容】 発達のメカニズムとして、社会性の発達について解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>（予習：2時間） 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 （復習：2時間） 社会性の発達について、学んだ知識を整理しておく。</p>
5	村山	<p>【授業内容】 発達のメカニズムとして、道徳性・自我同一性の発達について解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>（予習：2時間） 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 （復習：2時間） 道徳性・自我同一性の発達について、学んだ知識を整理しておく。</p>
6	村山	<p>【授業内容】 学習のメカニズムとして、記憶のメカニズムや種類について解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>（予習：2時間） 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 （復習：2時間） 記憶のメカニズムや種類についてについて、学んだ知識を整理しておく。</p>

7	村山	<p>【授業内容】 授業内試験・レポートにより到達度を確認するとともに、知識をより定着させたものにする。</p> <p>【授業方法】 第1～6回目までの内容に関する授業内試験・レポートを行い、この授業内で解説する。</p>	<p>(予習：4時間)</p> <p>これまでの内容を体系的に整理するとともに、授業内試験・レポートに向けて知識を確実にしておく。</p> <p>(復習：3時間) 間違えた内容を中心に、理解・記憶を確実にする。</p>
8	村山	<p>【授業内容】 学習のメカニズムとして、思考の特徴について解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>(復習：2時間) 思考の特徴について、学んだ知識を整理しておく。</p>
9	村山	<p>【授業内容】 学習のメカニズムとして、創造的思考について最近の研究を含めて解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>(復習：2時間) 創造的思考についてについて、学んだ知識を整理しておく。</p>
10	村山	<p>【授業内容】 学習のメカニズムとして、知能の種類・特徴について解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>(復習：2時間) 知能の種類・特徴について、学んだ知識を整理しておく。</p>
11	村山	<p>【授業内容】 学習のメカニズムとして、学習理論について解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>(復習：2時間) 学習理論について、学んだ知識を整理しておく。</p>
12	村山	<p>【授業内容】 教育方法の実践、学習評価などを解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>(復習：2時間) 教育方法の実践、学習評価などについて、学んだ知識を整理しておく。</p>
13	村山	<p>【授業内容】 主体的な学習を支える指導として、動機づけなどを含めて解説する。</p> <p>【授業方法】 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>(復習：2時間) 動機づけなど主体的な学習を支える指導に関する内容を整理しておく。</p>
14	村山	<p>【授業内容】 授業内試験・レポートにより到達度を確認するとともに、知識をより定着させたものにする。</p> <p>【授業方法】 第8～13回目までの内容に関する授業内試験・レポートを行い、この授業内で解説する。</p>	<p>(予習：4時間)</p> <p>これまでの内容を体系的に整理するとともに、授業内試験・レポートに向けて知識を確実にしておく。</p> <p>(復習：3時間) 間違えた内容を中心に、理解・記憶を確実にする。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】特別活動の指導法		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	2	2	単位数	2.0
科目責任者	緑川 哲夫			
科目担当者	緑川 哲夫			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 特別活動は、学校における様々な構成での集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。この講義では、学校教育全体における特別活動の意義や目標、特別活動の内容や指導・評価の在り方を講義や演習、討議などにより特別活動の指導に必要な知識や素養を身に付けることができることを目標とする。</p> <p>【授業の到達目標】 1．学習指導要領における特別活動の特質、教育的意義、特別活動の目標及び内容について理解できる。 2．教育課程における特別活動の位置づけと各教科等との関連を理解できる。 3．学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の特質や目標、指導の在り方、合意形成に向けた話し合い活動や意思決定につながる指導法や指導計画の作成の仕方を理解している。 4．特別活動と生徒指導、学級経営との関連を理解し、学級経営の意義を踏まえた学級経営案が作成できる。 5．学校としての取組や学校と家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解している。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1．特別活動の特質、意義、目標及び内容について具体的に述べるができる。（ワークシート及びテスト） 2．学級活動・ホームルーム活動の指導・評価の在り方を踏まえて指導計画（学習指導案）が作成できる。（学習指導案及びテスト） 3．生徒会活動、学校行事、学級経営の指導・評価の在り方を踏まえて指導計画が作成できる。（ワークシート及びテスト） 4．学校としての取組や学校と家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方が説明できる。（ワークシート） 5．講義やペア、グループ討論への積極的参加度を評価する。（平常点）</p> <p>【成績評価の方法】 講義や討論への積極的参加度、教科書のワークシートの記述状況(20%)、定期試験(80%)の割合で評価します。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 記述内容等を確認し、授業にて模範解答や評価のポイントを提示し、解説します。</p> <p>【テキスト・参考書等】 1．渡部邦雄・緑川哲夫・桑原憲一編著 「新学習指導要領準拠 特別活動指導法 改訂版 第2刷」 (株)日本文教出版 2018年 2．小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 3．中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 4．高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 5．中学校学習指導要領解説 特別活動編（平成29年7月 文部科学省） 6．高等学校学習指導要領解説 特別活動編（平成30年7月 文部科学省） 1は教科書として使用するので必ず用意すること。 2～6は参考書として国の方針等を確実に理解するために活用できる。 その他、資料は授業中に適宜を配付する。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：緑川哲夫 E-mail：t-midorikawa@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 講義前か講義終了後に担当教員まで質問や相談をしてください。</p>			
備考				

【学修時間】
 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。

[実務経験のある教員による授業]
 この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。

【その他】
 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目
 科目：道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中学校及び高等学校保健体育）
 施行規則に定める科目区分又は事項等：特別活動の指導法

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	緑川	【授業内容】 テーマ：授業オリエンテーション、特別活動の特質と教育的意義、特別活動の経験と学ぶ。 【授業方法】 授業の進め方、特別活動の特質、特別活動の教育的意義について解説する。	（予習：1時間） 特別活動とは何か、学習指導要領における特別活動の位置づけを調べておきましょう。 （復習：1時間） ワークシートに特別活動の特質・教育的意義について整理しておきましょう。
2	緑川	【授業内容】 テーマ：学習指導要領にみる特別活動の変遷と新学習指導要領における特別活動の目標と内容についての理解を深める。 【授業方法】 学習指導要領にみる特別活動の変遷と新学習指導要領における特別活動の目標と内容について解説する。小グループで学習指導要領の変遷の特徴と法的位置づけについて確認する。	（予習：1時間） 新学習指導要領における特別活動の目標と内容、学習指導要領の法的位置づけを予習しておきましょう。 （復習：2時間） ワークシートに「特別活動の特質・教育的意義について整理し、小・中・高等学校時代の自らの特別活動の経験」をまとめておきましょう
3	緑川	【授業内容】 テーマ：特別活動指導の基盤となる学級経営の意義と学級づくりの方法について理解を深める。 【授業方法】 「チームとしての学校」として、学校経営、学年経営、学級経営の関連を図ることの重要性を理解し、自らが理想とする学級づくりの基本的な方法を解説する。自らの小・中・高等学校時代の学級生活を振り返り、グループで各自の心に残った学級の様子を発表し合い、理想的な学級担任像を考察する。	（予習：1時間） 教科書の該当ページを読んでおきましょう。 （復習：3時間） 自分の経験やグループのメンバーから発表された心に残った学級の様子を参考にして、自分の理想とする学級づくりの構想をワークシートに記入しておきましょう。

4	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連、学校と家庭・地域住民、関係機関との連携の在り方</p> <p>【授業方法】 児童生徒時代の体験を振り返り、講義内容との関連を図りながら、特別活動と各教科等との関連、学校と家庭・地域住民、関係機関との連携の在り方を考察する。</p>	<p>(予習：1時間) 教科書の該当ページを読んでおきましょう。</p> <p>(復習：2時間) 本時の学習内容をもとにワークシートを整理しておきましょう。</p>
5	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：生徒指導、キャリア教育と特別活動</p> <p>【授業方法】 ワークシートに、児童生徒時代の生徒指導、キャリア教育の体験と学んだことをまとめた後、ペアで相互に説明しあう。生徒指導、キャリア教育の意義や特別活動との関連を考察する。</p>	<p>(予習：2時間) 教科書の該当ページを読み、小・中・高等学校時代の生徒指導の体験を振り返りまとめておきましょう。</p> <p>(復習：1時間) 講義内容やペアで情報交換したことを参考にワークシートをまとめておきましょう。</p>
6	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：学級活動・ホームルーム活動の目標と内容、指導上の留意点について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 中学校の学級活動、高等学校のホームルーム活動の目標と内容、指導法と指導上の留意点について解説する。</p>	<p>(予習：1時間) 教科書該当ページを読んでおきましょう。(復習：1時間) 講義で学習した内容や自分の小・中・高等学校時代の学級活動・ホームルーム活動の経験を振り返ってワークシートをまとめておく。</p>
7	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導の在り方、指導計画と学習指導案の作成について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導の在り方、学級活動の指導計画(全体計画、年間指導計画を踏まえた1単位時間の指導計画(学習指導案))の作成の仕方について解説する。</p>	<p>(予習：2時間) 教科書の該当ページ及び事前に配布した資料「学習指導案の作成と留意点」を読んでおきましょう。</p> <p>(復習：3時間) 任意の議題/題材を選んで、資料「学習指導案の作成と留意点」で示した所定の書式により1単位時間の指導計画(学習指導案)を作成しておきましょう。</p>
8	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：学習指導案を検討する。</p> <p>【授業方法】 グループで各自が作成した学習指導案をもとに模擬授業を行いその結果を検討し合い、よい点や改善点を明確にする。</p>	<p>(復習：8時間) 次回の確認テストのための復習をしておきましょう。模擬授業とグループディスカッションの結果等を踏まえて、学習指導案を改良しておきましょう。</p>

9	緑川	<p>【授業内容】 テーマ： 確認テスト（1 - 8 回目の内容について） 生徒会活動の目標と内容、指導上の留意点について理解を深める。 【授業方法】 試験についての解説の後、生徒会活動の目標と内容、指導上の留意点について解説する。講義内容や自らの経験を参考にして、ペアになり、担当したい生徒会・各種委員会を決め、指導計画を共同で立案し、その結果をワークシートにまとめる。</p>	<p>（予習：1時間） 教科書の該当ページを読んでおきましょう。</p> <p>（復習：2時間） 講義で取り上げた内容や自分の中・高等学校時代の生徒会活動の経験やグループでの検討結果を振り返って教科書のワークシートにまとめておきましょう。</p>
10	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：生徒会活動の指導計画を作成する。 【授業方法】 生徒会活動の指導計画を作成する上での配慮事項について理解する。グループになり、討論により担当する委員会を1つ選び共同して委員会の指導計画を作成する。</p>	<p>（予習：3時間） 教科書の該当ページ読んで、自分の委員会活動の体験をまとめておきましょう。</p> <p>（復習：2時間） グループ討論によりまとめた委員会活動の指導計画を教科書のワークシートにまとめておきましょう。</p>
11	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：学校行事の目標と内容、指導法および指導上の留意点について理解を深める。 【授業方法】 学校行事の目標と内容、指導上の留意点について解説する。グループで、学校行事の目標と内容、指導法および指導上の留意点について確認しあう。</p>	<p>（予習：2時間） 教科書の該当ページを読んでおきましょう。</p> <p>（復習：2時間）授業の学習内容やグループ討議での意見や合意内容等を参考にして、教科書のワークシートをまとめておきましょう。</p>
12	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：学校行事の指導計画の作成について理解を深める。 【授業方法】 学校行事の指導計画の作成、指導計画作成上の留意点について解説する。グループになり、ワークシートの「学校行事全体にわたる年間指導計画」を作成する。</p>	<p>（予習：3時間） 教科書の該当ページを読み、ワークシートに、自分が考えた学校行事全体にわたる年間指導計画案と個別の行事指導計画案を記入しておきましょう。</p> <p>（復習：2時間） 講義内容や児童・生徒時代の経験を踏まえて、健康安全・体育的行事担当者として、指導計画案を立案しておきましょう。</p>
13	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：部活動の意義と指導のあり方について理解を深める。 【授業方法】 部活動の意義と指導のあり方、指導計画の意義と作成について解説する。 グループで、各自が担当したい部活動の指導目標や方針、指導計画と事故防止策について説明し、意見交換する。</p>	<p>（予習：3時間） 教科書の該当ページ及び「部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」等を読み、ワークシートに自分が指導したい校種の部活動名、指導目標や方針、指導計画や指導上の留意事項を記入しておきましょう。</p> <p>（復習：2時間） 授業の学習内容やグループのメンバーからの意見や助言等を参考にして、よりよい部活動の指導計画をつくりましょう。</p>

14	緑川	<p>【授業内容】 テーマ：特別活動における評価について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 評価の意義、評価の機能、特別活動における評価、指導要録について解説する。 ペアになり、「集団に準拠した評価」「目標に準拠した評価」「個人内評価」について相手に説明する。</p>	<p>(復習：8時間) 定期試験の準備。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】総合的な学習の時間の内容と教育課程の編成		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	2	2	単位数	2.0
科目責任者	長岡 知			
科目担当者				
牛尾直行				
授業概要	<p>【授業全体の内容】 総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。 各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。総合的な学習の時間について、その教育課程の中における位置づけや目標や学習内容等について解説し、探究的な見方・考え方を働かせる総合的な学習の時間の授業の創出に向けた指導計画の作成を通じて、テーマ設定や指導計画、単元計画について考察する。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 「総合的な学習の時間」が創設されるまでの経緯と意義を理解する。 2. 「総合的な学習の時間」の目標の構成を知り、その趣旨を理解する。 3. 具体例を基にして「総合的な学習の時間」の全体計画の作成及び年間指導計画の作成の仕方を理解する。 4. 「総合的な学習の時間」の学習指導の基本的な考え方とポイントを理解する。 5. 「総合的な学習の時間」の評価の基本的な考え方と方法を理解する。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1. 学習指導要領に示されている目標や内容等を理解し、効果的な総合的な学習の時間の授業を創出するための基本的な考え方と進め方について理解できているか、毎時の課題提出で評価する。（平常点） 2. 授業実践に向けた学習指導案の書き方が理解できているか、学習指導案の提出で評価する。（レポート） 3. 教材づくり等のグループワークに主体的・対話的に参加しているか、授業中の発言やワークシート、予習復習の取組状況によって受講態度を評価する。（平常点）</p> <p>【成績評価の方法】 授業態度や取り組む姿勢等50%、毎時の課題提出15%、グループワークへの積極的参加20%、学習指導案作成15%にて評価する。なお、授業態度・取り組む姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 将来教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により変更することがある。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 授業にて返却し、模範回答や評価のポイントを提示しながら解説する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 1. 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 2. 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（平成29年7月 文部科学省） 3. 文部科学省『今、求められる総合的な学習の時間の展開』（中学校編）平成22年11月 4. 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 5. 高等学校学習指導要領解説 総合的な探求の時間編（平成30年7月 文部科学省） 6. 文部科学省『今、求められる総合的な学習の時間の展開』（高等学校）平成22年11月 7. 小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（平成29年7月 文部科学省） 8. 教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』平成24年7月 2. 5は教科書として使用するので必ず用意すること。その他は参考書であり、単元計画、指導案の作成等に参考になる。その他、適宜、資料を配布する。</p>			
連絡先とオフィスアワー				

<p>【連絡先】 担当：長岡 知 E-mail：tm-nagaoka@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 月曜日 12:10-12:50 1号館4階 1416号室 上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。</p>			
<p>備考</p> <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>[実務経験のある教員による授業] 高等学校において保健体育教員、担任業務にあっていた経験を生かし、学校現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説します。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）、総合的な学習の時間の指導法 また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	長岡	<p>【授業内容】 テーマ：ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間（現状と課題） ・授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する <p>【授業方法】 ・スライド講義、グループワーク ペア学習により、総合的な学習の時間の意義について意見を出し合う。</p>	<p>（予習：2時間） ・総合的な学習の時間の授業を振りかえり、自分なりの課題を見だし、受講の心構えを確認する。</p> <p>（復習：3時間） ・総合的な学習の時間の意義を踏まえ、今後の学習の見通しを立て、学習内容について概観し、整理する。</p>
2	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：学校教育課程と学習指導要領 学習指導要領の変遷と法的性格について概説し、総合的な学習の時間を通して学力・資質能力を育成するための教育課程の編成についての理解を深める。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>（予習：2時間） 総合的な学習の時間の目標の構成や趣旨について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p> <p>（復習：2時間） 学習指導要領解説を読み、教育課程についての理解を深める。</p>

3	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：目標論・学力論 総合的な学習の時間の創設された背景や意義、目標について概説するとともに、カリキュラム・マネジメントの視点に立って現代の学校で求められている教育目標論・学力論について論じ、教科や領域・学年をまたいで編成させる総合的な学習の時間が占める学校カリキュラム上の位置づけについて理解を深める。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>(予習：2時間) 総合的な学習の時間の創設の背景や目標の変遷について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p> <p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を読み、理解を深める。</p>
4	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：教材論・カリキュラム開発 授業を進める上で教材とは何か、教材開発の手法及びカリキュラムの意義や役割について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 保健の指導内容について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p> <p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。</p>
5	長岡	<p>【授業内容】 テーマ：内容論 各学校において定める目標及び内容について解説し、課題に基づき整理する。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>(予習：1時間) 自分の関心のある探究課題を選択し、指導計画について構造的にまとめる。</p> <p>(復習：3時間) 総合的な学習の時間の目標及び内容の設定について理解を深める。</p>
6	長岡	<p>【授業内容】 テーマ：指導計画 総合的な学習の時間における指導計画の作成方法について理解し、単元計画を作成する。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習により、指導計画・単元計画作成の意義についての理解を深める。</p>	<p>(予習：1時間) 総合的な学習の時間の指導方法について、学習指導要領解説書を読み、理解を深めておく。</p> <p>(復習：3時間) 総合的な学習の時間の基礎的条件、内容的条件について、整理する。</p>
7	長岡	<p>【授業内容】 テーマ：学習指導論 探求的な見方・考え方を働かす総合的な学習の時間とは何かを考え、総合的な学習の時間の基礎的条件と内容的条件について理解する。</p> <p>【授業方法】 グループワーク、プリントとスライドを用いて講義を進める。グループ・ディスカッションを通じて、探求的な見方・考え方とは何かについて意見交換し理解を深める。</p>	<p>(予習：1時間) 総合的な学習の時間の観点別評価について、参考書3、8を読み、理解を深めておく。</p> <p>(復習：3時間) 総合的な学習の時間の基礎的条件、内容的条件について、整理する。</p>

8	長岡	<p>【授業内容】 テーマ：学習評価 総合的な学習の時間における目標に準拠した学習評価について理解する。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習やグループワークにより、実践的に学習評価についての理解を深める。</p>	<p>(予習：1時間) 教材・教具について、参考書3、8を読み、理解を深めておく。</p> <p>(復習：3時間) 目標に準拠した学習評価について復習する。</p>
9	長岡	<p>【授業内容】 テーマ：教材・教具論</p> <p>探究課題：「福祉」についての現代的課題についての理解を深め、探究的な見方・考え方を働かす課題設定についての考察する</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習やグループワークにより、実践的に学習評価についての理解を深める</p>	<p>(予習：2時間) 探究課題「福祉」についての現代的課題について調べたり、資料を集めておく。</p> <p>(復習：2時間) 探究課題についての現代的課題を理解し、テーマ設定の基本的な考え方や実際の授業展開についての構想を整理する。</p>
10	長岡	<p>【授業内容】 テーマ：教材・教具論 探究課題：「福祉」についての探究的な課題設定し、探究的な学習の進め方について理解する。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習やグループワークにより、実践的に学習評価についての理解を深める。</p>	<p>(予習：2時間) 探究課題における具体的なテーマ設定について指導展開についての理解を深めておく。</p> <p>(復習：2時間) 探究課題についての現代的課題を理解し、テーマ設定の基本的な考え方や実際の授業展開についての構想を整理する。</p>
11	長岡	<p>【授業内容】 テーマ：授業実践事例から学ぶ</p> <p>ゲストティーチャーによる実践事例の発表を聞き、探究的な見方・考え方を働かす授業計画、授業展開についての配慮事項について考察する。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習やグループワークにより、実践的に学習評価についての理解を深める。</p>	<p>(予習：2時間) 自分の興味関心のある探究課題について、指導計画、単元計画についての構想を練る。</p> <p>(復習：2時間) 実践事例の発表を聞き、授業計画、授業展開についての配慮事項について理解し、整理する。</p>
12	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：単元計画作成 総合的な学習の時間における指導計画の作成方法について理解し、単元計画を作成する。</p> <p>【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習により、指導計画・単元計画作成の意義についての理解を深める。</p>	<p>(予習：2時間) 作成した単元計画を発表できるよう、模造紙やPCを使って準備する。</p> <p>(復習：2時間) 総合的な学習の時間における指導計画について理解し、単元計画や学習指導案についてまとめる。</p>

13	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：単元計画作成 作成した単元計画を公表し、問題点や課題を検討し作成上の配慮事項についての理解を深める。</p> <p>【授業方法】 発表形式で授業を進める。発表に対して疑問や課題を配慮事項についてグループ討論し理解を深める。</p>	<p>(予習：2時間) 作成した単元計画をもとに、1単位時間分の学習指導案(略案)を作成する。</p> <p>(復習：3時間) 作成した単元計画について、修正を加える。</p>
14	牛尾	<p>【授業内容】 テーマ：学習指導案づくり 作成した単元計画をもとに、1単位時間の学習指導案(略案)を作成する。</p> <p>【授業方法】 グループワークにて作成した単元計画をもとに、学習指導案(略案)を作成する。授業展開における担当箇所の細案をペアで作成する。</p>	<p>(予習：3時間) 作成した学習指導案を公表できるよう、模造紙やPCを使って準備する。</p> <p>(復習：3時間) グループで作成した1単位時間の学習指導案(略案)を再度整理し、授業展開・内容について検討する。</p>
		定期試験を実施しない。	

授業科目名	【新カリ】学校経営論		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	3	3	単位数	2.0
科目責任者	阿部 博之			
科目担当者	阿部 博之 浅野 あい子			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】</p> <p>現代の学校教育に関する社会的・制度的又は経営的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。具体的には、学校の機能・学校と教育行政・教員の専門性・学習指導と教育課程・学校事務・施設設備と学校財務・接遇・学校の危機管理・地域住民や保護者の学校への期待・体罰防止などを理解し、教員としての資質を養う。</p> <p>この授業は講義とグループ討議（演習）の二本立てとし、意見交換を積極的に行う。加えて毎時、既習内容の確認テストを実施する。</p>				
<p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．生徒・保護者・教員とのコミュニケーションを円滑に行うことができる。 2．組織としての学校の特質と学校運営の仕方を理解し、これからの学校はどうあるべきか、学校経営の在り方を説明できる。 3．生徒指導の要点を説明できる。 4．学級経営の要点を説明できる。 5．学校の危機管理（クレーム対応を含む）について説明できる。 6．体罰防止、生徒がやる気になる部活動の指導について説明できる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <p>以下の講義で理解し、説明できること。（平常点・グループ討議）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．教師の主たる仕事とは何かを説明できるか。 2．学校の管理・運営とは何かを説明できるか。 3．校務分掌を理解し、編成の要点を説明できるか。 4．教育課程とは何か、編成の要点を説明できるか。 5．学級経営の要点を説明できるか。 6．生徒指導体制の確立について説明できるか。 7．学校の危機管理について説明できるか。 8．体罰のない、生徒がやる気になる部活動の指導の在り方について説明できるか。 				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>次のとおり評価し、到達目標を踏まえた上で総合的に判断して単位を付与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．基礎となる評価：期末試験の成績、授業態度 2．積み上げとなる評価：毎時行う確認テストとグループ討議の報告の提出状況と質的内容、授業への積極的参加度 3．定期考査50%、確認テスト20%、グループ討議報告20%、授業への積極的参加態度10%により総合的に評価する。 				
履修における留意事項				

<p>【履修要件】 中学校や高等学校の教員を目指したい人は勿論のこと、教職に対して興味・関心を持っている人が受講すること。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 毎時、確認テストを実施し、前回分の解答と解説を行う。 定期考査の模範解答はJ-PASS上で示す。</p> <p>【テキスト・参考書等】 テキストは特になし。授業時にプリントを配付する。 参考書・参考資料：「教育小六法」、「学校経営を論ずる各種書籍」、 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 中学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 総則編（平成30年7月 文部科学省） 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（教育課程研究センター） 千葉県立学校の管理運営に関する規則（千葉県教育委員会）「母校の学校要覧」「教育関連ニュースや記事」</p> <p>連絡先とオフィスアワー</p> <p>【連絡先】 担当：阿部 博之 E-mail:h-abe618@xa2.so-net.ne.jp</p> <p>【オフィスアワー】 木曜日の12時30分～12時50分と14時30分～15時</p> <p>備考</p> <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 高等学校教諭・教頭・校長としての勤務経験に基づき、学校経営に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育の基礎的理解に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等： 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）</p> <p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：授業の進め方と受講心得 教育とは、学校とは、学校教育とは 学校の種類、学校の設置者、これからの学校の在り方。 【授業方法】 授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、これからの学校の在り方についてグループ(以下「G」と表記)討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 教育とは何か、学校教育とは何か、さらに、学校の種類や学校の設置者について調べておくこと（参考：「教育基本法」「学校教育法」など）。 （復習：2時間） 授業全体のイメージを掴むこと。また、学校教育は様々な法規等で定められていることを確認し、「教育」「学校」「学校の種類」「学校の設置者」を確認して整理しておくこと。また、なぜ学ぶのかをしっかりと考えること。</p>
2	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：学校教育と教育法規 憲法・教育基本法・地方公務員法・教育公務員特例法・学校教育法等・服務事故事例研究 【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 学校教育を規定する法規を読み込んでおくこと。特に教育に関わる憲法・教育基本法にどのようなことが記載されているかを調べておくこと。 （復習：2時間） 教育や教職員に関わる様々な法規等を確認し整理しておくこと。体罰防止について確認し整理しておくこと。</p>

3	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：教育行政と学校、教育委員会制度 地方教育行政の組織及び運営に関する法律と学校の関係、新しい教育委員会制度。日本の学校教育の優れている点と改善すべき点。 【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、日本の学校教育の優れている点と改善すべき点（欧米と比較して）についてG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 教育委員会制度の変遷、教育委員会と学校の関係はどの法規に定められているのか、内容についても調べておくこと。 （復習：2時間） 教育委員会と学校の関係について確認し整理しておくこと。日本の学校教育の不易と流行について確認し整理しておくこと。</p>
4	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：学校経営と組織マネジメント その 学校の管理・運営、学校経営方針、学校経営組織 【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、どんな学校を創りたいか（学校経営方針）について個人研究をする。</p>	<p>（予習：2時間） 学校の管理・運営の内容について調べておくこと。母校の学校教育目標についても調べておくこと。 （復習：2時間） 学校の管理・運営について確認し整理しておくこと。また、学校ごとに定められている学校教育目標について、母校のものを確認し整理しておくこと。</p>
5	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：学校経営と組織マネジメント その 組織マネジメント、学校経営戦略、学級経営・学年経営、私の理想の教師像、学校経営に当たっての基本的な事項 【授業方法】 確認テスト、個人研究発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校経営に当たっての基本的な事（4つの側面）についてG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 学校の管理・運営組織の内容を調べておくこと。4Mの条件やPDCAサイクルの内容を調べておくこと。成果を挙げている学校の経営戦略を調べておくこと。 （復習：2時間） 4Mの条件やPDCAサイクルを確認し整理しておくこと。自分の目指す教師像を確立すること。</p>
6	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：学校の組織 校務分掌の決定、職員会議の機能・運営、主任の役割、桃太郎を学校経営に例えると 【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、桃太郎の家来の能力、鬼退治を学校経営に例えるとどうなるかについてG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 校務分掌とは何か。職員会議とは何かについて調べておくこと。「千葉県立学校の管理運営に関する規則」や母校の学校要覧（又は学校案内）に目を通しておくこと。加えて、主任の役割について調べておくこと。 （復習：2時間） 校務分掌について整理しておくこと。職員会議の位置付けについて確認し整理しておくこと。また、主任の役割についても確認し整理しておくこと。また、桃太郎の鬼退治と学校経営について確認し整理しておくこと。</p>

7	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：教育課程に関わる組織運営、学習指導に関わる組織運営、学力（学力の樹）とは、深い学び、進路実現の戦略</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、深い学び 進路実現の戦略についてG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） [中学校・高等学校学習指導要領解説総則編]の「指導計画の作成」を調べておくこと。第3章第5節「教育課程実施上の配慮事項」について調べておくこと。</p> <p>（復習：2時間） 学校の大きな柱である「学習指導」の指導計画・編成とそれに関わる組織について確認し整理しておくこと。また、深い学びについて確認し整理しておくこと。</p>
8	浅野	<p>【授業内容】 テーマ：生徒指導に関わる組織運営 学級経営・特別活動・問題行動・子どもの心のサイン、心の居場所</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、いじめ防止としての「心の居場所づくり」についてG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 生徒指導に関わる組織として、学級経営・特別活動について調べておくこと。また、問題行動について調べておくこと。</p> <p>（復習：2時間） 生徒理解の上で成り立つ生徒指導について、その内容と組織的に実施されていること、さらに、いじめ防止としての絆づくりと居場所づくりについて確認し整理しておくこと。</p>
9	阿部	<p>【授業内容】 テーマ：学校事務、施設・設備と学校財務、サービス事故事例研究</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、サービス事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 学校事務の果たす役割について調べておくこと。学校の施設・設備の管理について調べておくこと。また、学校の財務について調べておくこと。</p> <p>（復習：3時間） 学校財務の果たす役割について確認し整理しておくこと。施設・設備の管理について確認し整理しておくこと。会計の適正管理について確認し整理しておくこと。</p>
10	阿部	<p>【授業内容】 テーマ：学校の危機管理その危機管理とは、防犯、交通安全、サービス事故事例研究</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、サービス事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 学校の危機管理とは何か、自分の考えをまとめておくこと。具体的に、防犯、交通安全の内容を調べておくこと。</p> <p>（復習：3時間） 危機管理とは何か、防犯、交通安全の内容を確認し、対応策を実践できるようにするために整理しておくこと。</p>
11	阿部	<p>【授業内容】 テーマ：学校の危機管理その食物アレルギー、心臓突然死、災害安全、サービス事故事例研究</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、サービス事故事例研究のG討議をする。</p>	<p>（予習：2時間） 学校の危機管理として、食物アレルギーや心臓突然死、災害安全の内容を調べておくこと。また、対応策を考えておくこと。</p> <p>（復習：3時間） 学校の危機管理の内容（食物アレルギー、心臓突然死、災害安全）について確認し、対応策を実践できるようにするために整理しておくこと。</p>

12	阿部	<p>【授業内容】 テーマ：接遇とクレーム対応 気持ちよい接遇、保護者や地域の方からのクレーム対応、危機管理事例研究</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、危機管理事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間) 来校者に失礼のない接遇の仕方を調べておくこと。どんなクレームがあるか調べ、対応策を考えておくこと。</p> <p>(復習：3時間) 学校の印象を左右する接遇の仕方を確認し、実践できるようにするために整理しておくこと。また、クレーム対応ができるようにするために対応策を確認し整理しておくこと。</p>
13	阿部	<p>【授業内容】 テーマ：学校自己評価、生徒・保護者の評価、学校評議員、PTA、学校危機管理事例研究、学校と地域との連携の意義、地域との協働の仕方、開かれた学校づくり</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校危機管理に関する事例研究のG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間) 学校自己評価や生徒・保護者等の評価の内容を調べておくこと。学校評議員会の内容を調べておくこと。PTAについて調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 授業で解説した地域との連携・協働の意義と方法の内容を踏まえ、学校自己評価とSWOT分析、生徒・保護者等の評価が行われる根拠と内容、生かし方、さらに学校評議員会やPTAの活用の仕方について確認し整理しておくこと。</p>
14	阿部	<p>【授業内容】 テーマ：運動部活動と体罰防止、フェアプレイ、セクハラ防止・パワハラ防止、学校と地域との連携の意義、地域との協働の仕方、開かれた学校づくり</p> <p>【授業方法】 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、セクハラ防止 パワハラ防止についてG討議をする。</p>	<p>(予習：2時間) 「高等学校学習指導要領解説総則編」の部活動について触れている内容を調べておくこと。ブラック業務とまで呼ばれている運動部活動指導について理想的な関わり方について調べておくこと。さらに地域との連携など、運動部活動を継続していくための要件、体罰防止の方策についても調べておくこと。フェアプレイと体罰防止の方策について調べておくこと。セクハラ・パワハラの実態について調べておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 生徒をその気にさせ体罰のない運動部活動指導について確認し整理しておくこと。セクハラ防止・パワハラ防止について確認し整理しておくこと。また、課外活動を例に地域との連携・協働の取組事例や意義についても整理すること。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】道徳の理論及び指導法		授業形態	講義・複数・オムニバス
英語科目名			開講学期	半期（後期）
対象学年	3	3	単位数	2.0
科目責任者	牛尾 直行			
科目担当者	牛尾直行 三間芳弘			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付けることを目標とする。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 過去に受けた道徳の授業をふり返り、現在に至る自己への影響と、自分にとってのキーパーソンの存在を確認し、道徳の本質（道徳とは何か）について説明することができる。 2. 道徳教育の歴史的変遷や現代社会における道徳的課題について理解を深め、子供の心の成長と道徳性の発達について説明することができる。 3. 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容について理解を深め、指導計画の作成に当たっては教育活動全体を通じた指導の必要性について説明することができる。 4. 道徳科における教材の特徴を踏まえて、多様な指導方法の特徴を理解し、授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。 5. 模擬授業に実践を通じて学習評価の在り方に理解し、授業改善の視点を養い、実践的な指導力を身につける。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 態度：積極的に発表し、根拠示して自分の考えを述べる。（平常点） 課題：内容を的確に把握し、対象者の感情を理解しながら取り組める。（平常点）。 レポート：根拠を示し、問題の背景を理論的に考察し、他人の意見を受容し、自分の考えをまとめている。（レポート）</p> <p>【成績評価の方法】 授業態度や取り組む姿勢等30%、毎時の課題提出20%、グループワーク等への積極的参加30%、課題レポート10%、定期試験10%にて評価する。なお、授業態度・取り組む姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 指導者や教員を目指すための強い意志があること。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 前回の課題を授業冒頭に発表することにより、多くの学生の考えや行動規範を知り、自己と比較し否定せず受容する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編（平成29年7月 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 心のノート（文部科学省）、私たちの道徳（文部科学省） 毎時、授業に関するプリントを配布する。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：牛尾 直行（1号館2F1220 教育学研究室） E-mail：n-ushio@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 月～木のお昼休み</p>			
備考				

<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>[実務経験のある教員による授業] 中学校等における教諭としての勤務経験に基づき、道徳の指導における実践的な知識・技術を解説する。</p> <p>【その他】 中学校教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 高等学校教諭1種免許（保健体育）取得するための選択科目 科目：道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中学校及び高等学校保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：道徳の理論及び指導法</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	牛尾 三間	<p>【授業内容】 オリエンテーション 過去に自身が受けた道徳の授業</p> <p>【授業方法】 自己の道徳授業体験を振り返り、他者と比較する。周囲の学生と体験について話し合う。</p>	<p>（予習：2時間） 自己の経験した道徳授業を振り返り、学制ごとにまとめる。</p> <p>（復習：1時間） 自身の現在に至るキーパーソンの存在を再確認する。</p>
2	牛尾	<p>【授業内容】 道徳の位置づけと変遷、改訂前後の学習指導要領、教育課程の編成、道徳教育の法的根拠。道徳性とは。</p> <p>【授業方法】 スライドにより法的根拠等を解説する。 道徳性について考えさせる。</p>	<p>（予習：2時間） 「道徳」の教育課程上の位置づけを調べる。</p> <p>（復習：2時間） 法的根拠をまとめる。</p>
3	牛尾	<p>【授業内容】 道徳教育の内容項目4観点。教育課程の編成と道徳実践力。</p> <p>【授業方法】 資料及びスライドをもとに「特別の教科道徳」の内容項目を解説する。</p>	<p>（予習：2.5時間） 戦後の道徳教育の変遷を調べる。</p> <p>（復習：2時間） 学校教育、道徳教育の法的根拠を調べる。</p>
4	三間	<p>【授業内容】 道徳教育と性格の多面的側面。リフレーミングにより自己の性格を考える。</p> <p>【授業方法】 自己分析や他者理解を通し、その特性を多面的に捉える。</p>	<p>（予習：2時間） 学習指導要領「特別の教科道徳」を読み込む。</p> <p>（復習：2時間） 自己の性格を分析し、多面的に観察して自己理解を深める。</p>
5	三間	<p>【授業内容】 年間指導計画の作成及と作成上の留意点。</p> <p>【授業方法】 スライドによる留意点の理解。 授業授業資料DVDを視聴。</p>	<p>（予習：2時間） 学習指導案の形式を調べる。</p> <p>（復習：2時間） 改訂前後の学習指導要領を比較する。</p>
6	三間	<p>【授業内容】 道徳資料DVDを視聴し、学習指導案を作成。</p> <p>【授業方法】 学習指導案を作成後、相互に発表する。</p>	<p>（予習：2時間） いろいろな学習指導案を調べる。</p> <p>（復習：2時間） 作成した指導案を推敲する。</p>

7	牛尾 三間	【授業内容】 中央教育審議会答申内容と今後の計画を理解する。 【授業方法】 資料及びスライドをもとに、教科化の背景や流れを知る。	(予習：2時間) 改訂学習指導要領「道徳」の評価について調べる。 (復習：2.5時間) 中央教育審議会及び答申内容を調べる。
8	三間	【授業内容】 学習指導案の作成と日常生活における道徳的实践力 【授業方法】 日常生活を振り返り、気付きを相互理解し、共有する。 福島県教育委員会作成資料「絆」の読み込み。	(予習：2時間) 東日本大震災における福島県の現在の被害状況を調べる。 (復習：2.5時間) 道徳学習指導案をもとに授業中の想定問答の作成。
9	三間	【授業内容】 東日本大震災のその後についての理解。 【授業方法】 スライドにより福島県の現状を理解し、学習指導案(中学校編)を作成する。	(予習：2.5時間) 福島県教育委員会作成道徳資料「絆」を調べ読み込む。 (復習：2時間) 資料の内容を調査し、指導案を推敲する。
10	三間	【授業内容】 東日本大震災のその後についての理解。 【授業方法】 スライドにより福島県の現状を理解し、学習指導案(高等学校校編)を作成する。	(予習：2.5時間) 福島県教育委員会作成資料「絆」を調べ読み込む。 (復習：2.5時間) 資料の内容を調査し、作成した指導案の推敲。
11	三間	【授業内容】 指導形態や色々な資料を用いて授業における葛藤の場面を理解する。 【授業方法】 道徳授業資料の扱いを理解し自作の資料を作成する。	(予習：2.5時間) 色々な読み物資料を調べる。 (復習：2時間) 色々な葛藤場面を想定した道徳学習指導案を作成する。
12	三間	【授業内容】 心に響く道徳資料の作成。「お子様ランチ」(ディズニーランドから)を用いて。 【授業方法】 読み物資料を活用し、自作の資料を作成する。	(予習：2.5時間) 自作の資料を使った道徳学習指導案を推敲する。 復習：2時間) 「心のノート」「私たちの道徳」について調べる。
13	牛尾 三間	【授業内容】 自作の資料を用いた学習用指導案の作成。 【授業方法】 読み物資料の扱いを理解し、自作の資料を用いた模擬授業を実施する。	【授業内容】 自作の資料を用いた学習用指導案の作成。 【授業方法】 読み物資料の扱いを理解し、自作の資料を用いた模擬授業を実施する。
14	牛尾 三間	【授業内容】 自作資料での「特別の教科道徳」学習指導案作成。 【授業方法】 作成した道徳学習指導案をグループ内で模擬授業方式を発表する。	(予習：2.5時間) 模擬授業の構成を考える。 (復習：2時間) 資料及び道徳学習指導案を作成する。
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】教育実習		授業形態	実習
英語科目名			開講学期	集中
対象学年	3		単位数	4.0
科目責任者	長登 健			
科目担当者	牛尾直行、中嶽 誠、荻原朋子、尾高邦生			
授業概要				
<p>[授業全体の内容] 教育についての理論、教科についての専門的知識・技能、生徒理解など、大学の教職課程で学んだ内容を教育現場で総合的に実践、省察し、理論と実践の往還を通して、教員としての実践的指導力を身に付ける。 具体的には、教師として求められている知識・技能を4週間という長期の中学校・高等学校での現場実習によって実践的に身に付ける。</p> <p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）] 教職課程において必修科目に位置付けられている科目であり、教育についての理論、教科についての専門的な知識・技能、児童生徒理解など、大学の教職課程で学んだ内容を中学校または高等学校の教育現場で総合的に実践し、教師としての実践的な指導力を身に付けるものです。</p> <p>[授業の到達目標] 1. 生徒や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習校の生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解している。 2. 大学で学んだ教科（保健体育）や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を、各教科や教科外活動の指導場面で実践するための基礎を修得している。</p>				
成績評価				
<p>[成績評価の基準] 1. 教師として求められる知識・技能を身に付けるために精力的に取り組んでいたか。 2. 教師として求められる知識・技能について新たな課題を見付けることができたか。</p> <p>[成績評価の方法] 教育実習校において大学が設定した評価項目（教育実習校からの評価）及び出席、実習記録「保健体育実習日誌」などから総合的に評価する。</p>				
履修における留意事項				
<p>[履修要件] 本教育実習の履修のためには、事前・事後指導の履修も必修である。学部学生の履修に当たっては、必ず前年度から事前・事後指導を履修し、実習校への打診などの準備を着実に進めること。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 教育実習を実施するためには、各履修年次の到達目標等を勘案し、有意義な教育実習とするために、以下の前年度までに単習得しておかなければならない「教職ハードル」科目・単位数がある。それを満たせない場合には、教育実習を実施することはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教職、教科、その他の科目」のうち27単位以上を取得していること。 ・次に掲げる科目を単習得済みであること。 「教職概論」「教育原理」「教育心理学」「保健体育科教育法」「保健体育科教育法」 <p>実習中は、「保健体育教育日誌」に記録を詳細に記し、実習終了後は速やかに教務課に提出すること。</p> <p>[試験、レポート等の課題に対するフィードバックの方法] 「保健体育実習日誌」を活用しつつ、事前・事後指導において行う。</p> <p>[テキスト・参考書等] 1. 「学習指導要領（文部科学省）」及び「学習指導要領解説（文部科学省）」 2. 「教員免許取得のためのガイドブック（順天堂大学スポーツ健康科学部）」</p>				
連絡先とオフィスアワー				
適宜指定する。				
備考				
<p>[学修時間] 実習校での180時間の学修時間を標準とする。</p> <p>[実務経験のある教員による授業] この科目は、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かして、科目責任者を担当します。</p> <p>[その他] この科目は、中学校および高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教職実践に関する科目」における必修科目として位置づけられています。</p>				
授業計画 【授業内容と準備学修等】				

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -
1	長登、牛尾、中嶽、荻原、尾高	<p>【実施時期】 3年次の9月の実施を原則とする。ただし特別の事情がある場合は4年次6月または3年次2月とすることができる。 3年次9月以外の時期に実習を希望する場合は、2年次11月末までに教育実習変更届を提出すること。</p> <p>【実施期間】 4週間</p> <p>【実施校】 出身校または千葉県内の協力校（中学校・高等学校） 協力校での実習を希望する場合は、2年次11月末までに協力校実施願を提出すること。</p>	<p>（予習） 「事前指導」での学修をもとに、十分な学修時間を確保する。</p> <p>（復習） 「事後指導」にむけて実習校での学修をふり返るために、十分な学修時間を確保する。</p>

授業科目名	【新カリ】事前事後指導		授業形態	放課後等の集中講義
英語科目名			開講学期	集中
対象学年	3		単位数	1.0
科目責任者	長登 健			
科目担当者				
牛尾直行、中嶽 誠、荻原朋子、尾高邦生				
授業概要				
<p>[授業全体の内容]</p> <p>事前指導：実習校との調整や実習の準備について解説するとともに、学習指導案の作成や模擬授業の実施等を行う。</p> <p>事後指導：各自の教育実習を振り返り、教員としての職務や態度などを再確認する。</p> <p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>教職課程において必修科目に位置付けられている円滑かつ有意義な教育実習を行うための準備、及び実習終了後のまとめを行うものです。</p> <p>[授業の到達目標]</p> <p>1．教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚した上で意欲的に教育実習に参加することができる。</p> <p>2．教育実習を通して得られた知識や経験をふりかえり、教員免許取得までさらに習得することが必要な知識や技能等を理解している。</p>				
成績評価				
<p>[成績評価の基準]</p> <p>1．着実に教育実習に臨む準備を行っているか</p> <p>2．教育実習後真摯に実習を振り返り、今後の課題を見出しているか。</p> <p>[成績評価の方法]</p> <p>3年次6月の集中講義をはじめとした事前・事後指導における取り組む姿勢や各種提出物などにより総合的に評価する。</p>				
履修における留意事項				
<p>1．受講条件</p> <p>各履修年次の到達目標を勘案し、有意義な教育実習とするため、2年次終了時まで履修可能な教職関係科目において、以下の条件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教職、教科、その他の科目」のうち27単位以上を取得していること。 ・以下に掲げる科目を単位修得済みであること。 <p>「教職概論」「教育原理」「教育心理学」「保健体育科教育法 」「保健体育科教育法 」「教育実習を3年次9月以外に実施した者は、随時事前・事後指導を実施する。</p> <p>2．テキスト/参考書</p> <p>「学習指導要領（文部科学省）」、「学習指導要領解説（文部科学省）」、「教員免許取得のためのガイドブック（順天堂大学スポーツ健康科学部）」</p>				
連絡先とオフィスアワー				
適宜指定する。				
備考				
<p>[学修時間]</p> <p>実習の授業形態による1単位の授業であり、学修時間は予習、復習を含め45時間を標準とする。</p> <p>[実務経験のある教員による授業]</p> <p>この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かして、教育実習に向けての準備、教育実習後の振り返りを指導します。</p> <p>[その他]</p> <p>この科目は、中学校および高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教職実践に関する科目」における必修科目として位置づけられています。</p>				
授業計画 【授業内容と準備学修等】				
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ）	
1	長登、牛尾、中嶽、荻原、尾高	2年次5月 （授業内容） 教育実習の解説、実習校希望調査の実施など （授業方法） 講義		

長登、牛尾、中嶽、 荻原、尾高	3年次4月 (授業内容) 「保健体育科教育実習の記録」 についての説明、実習校との 調整などについて解説 (授業方法) 講義	
長登、牛尾、中嶽、 荻原、尾高	3年次6月(2日間の集中講義) (授業内容) 指導案の作成及び模擬授業の実 施 (授業方法) 実習	
長登、牛尾、中嶽、 荻原、尾高	3年次7月 (授業内容) 実習直前の必要事項の確認、事 前レポートの作成など (授業方法) 講義・実習	
長登、牛尾、中嶽、 荻原、尾高	3年次11月 (授業内容) 教育実習のふり返し、事後レポ ートの作成など (授業方法) 講義、実習	

授業科目名	【新カリ】肢体不自由者の心理・病理・生理		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	2	2	単位数	2.0
科目責任者	飯嶋 正博			
科目担当者	飯嶋 正博 村上祐介			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 今、障害者差別解消法の制定により、基礎的環境整備と合理的配慮が、社会に求められ、特に教育においてはインクルーシブ教育の構築のために、肢体不自由者（身体障害者）に対する一層の理解が求められている。この授業では、肢体不自由者（身体障害者）を中心に、彼らの心理的特徴や、行動特性、実際の生活実態、さらに、生理的・病理的特徴を知り、取り巻く社会環境などの基礎的な知識や理解を深めるとともに、かれらとかわる教員になるために不可欠な資質も体得する。</p> <p>【授業の到達目標】 1．肢体不自由者（身体障害者）の生涯発達に沿った心理的特徴、行動特性、生活実態、さらに、生理的・病理的特徴を理解し、説明することができる。 2．彼らを取り巻く社会環境を理解するとともに、障害者本人のみならず、彼らの家族や友人、支援する人々の心理も理解できる。 3．心理の科目であるが、関連する法律、医学、教育、動物、科学技術など関連する領域についても理解できる。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1．講義内容を理解し、ノートに記載出来る。（平常点・レポート） 2．自ら内容を整理し、より深く調べたり、考えたりしたことをノートに記載出来る。（平常点・レポート） 3．習得した知識や理解を説明できる。（定期試験）</p> <p>【成績評価の方法】 1．平常点（講義中のノートの記載と、予習・復習で行われるノート整理・課題レポートの記載）30% 2．定期試験（出題への知識・理解、さらにその実践的対応力）70% 3．両者の合計100%のうち、60%以上で合格点とする。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 1．「心理学」、「生理学」、「教育心理学」を受講していることが望ましい。 2．自分自身のノートを用いても構わないが、独自に作成されたアクティブ・ラーニング・ノートに基づいて受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 1．アクティブ・ラーニング・ノートは定期試験直前に提出し、評価点を付けて試験後に返却される。 2．定期試験では、設問に対して筆記試験で評価される。</p> <p>【テキスト・参考書等】 1．特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 2．特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 3．特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 4．特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 5．特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省）</p> <p>テキストは指定しないが、随時、独自に作成された配布資料に出典や、参考書などを紹介する。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当： 飯嶋 正博 E-mail：mijima@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 日時：水・木・金曜日の昼休み12:30から 場所：1号館2階心身障害心理学研究室(1212) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p>			
備考				

<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の合計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 講義のみでは、実際の様子や心情などを理解することが難しいため、視聴覚教材を多用し、5感や心情に訴えることがある。</p> <p>特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（中心領域：肢、含む領域：知・病）</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：オリエンテーション 本授業の目的および目標の解説をし、授業の進め方、特にアクティブ・ラーニング・ノートの活用について説明する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に、後半は視聴覚教材を視聴し、その後各種話し合いを行う。</p>	<p>（復習：4時間） アクティブ・ラーニング・ノート（以下ALNと略す）に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。 新聞、各種ニュース、雑誌などで「身体障害」に関連する記事を調べる。</p>
2	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：肢体不自由者への支援 24時間テレビやメイク・ア・ウィッシュなどの活動を紹介し、彼らの夢をかなえるお手伝いの意義を解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>（予習：2時間） 「24時間テレビ」のことを調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
3	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：障害の定義と原因 肢体不自由を中心に障害の定義とその原因について、解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>（予習：2時間） 漫画「リアル」について調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
4	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：肢体不自由の定義 肢体不自由者（身体障害者）の定義、種類、数などを解説する。特に、生理的・病理的特徴を中心に解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>（予習：2時間） 「ディズニーのキャラクター」を調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
5	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：脳性マヒ1 脳性マヒの定義、種類、原因などその特徴と実際を解説する。特に、生理的・病理的特徴を中心に解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>（予習：2時間） 「脳性マヒ」の有名人を調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
6	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：脳性マヒ2 脳性マヒの随伴障害について解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>（予習：2時間） 「脳性マヒ」を扱った映画、漫画、小説などを調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>

7	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:脳性マヒ以外の障害 脊髄損傷や進行性筋ジストロフィ等の心理的特徴、行動特性、生活実態、さらに生理的・病理的特徴を解説する。 などを解説する。 【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「交通事故・スポーツ事故」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
8	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:リハビリテーション 身体障害者が受けるリハビリテーションについて、生理・病理に基づいた医学的リハビリテーションのみならず教育的、社会的、職業的支援について解説する。 【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「リハビリテーション」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
9	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:特別支援教育 教育的リハビリテーションとして特別支援教育の内容を特別支援学校の様子などを用いて解説する。 【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「特別支援学校」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
10	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:パートナー・アニマルズ 障害者を支援する動物たちを紹介する、補助犬を中心に、各種動物の活躍を紹介する。 【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「補助犬法」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
11	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:肢体不自由者の活躍1 アダプテッド・スポーツだけでなく、様々なスポーツで活躍する人を紹介する。 【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「パラリンピック」で活躍した人を調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
12	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:肢体不自由者の就労 肢体不自由者が就労し、家庭を持ち、自立した様子を解説し、その方の人生を考える。 【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「キャリア教育」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>
13	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:肢体不自由者の活躍2 芸術分野(美術・音楽・文学など)で活躍した人を紹介する。 【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 作者が肢体不自由者である人の「芸術作品」を調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。</p>

14	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:家族の心理 障害を持った子どもの親(保護者)や兄弟姉妹の心理的状态、 心情、覚悟等について解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「出生前診断」について調べる。</p> <p>(復習:6時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけてALNにまとめる。ALNを整理しつつ、定期試験のために、知識や理解を深めた点を説明できるように準備する。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】病弱者の心理・生理・病理		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	3	3	単位数	2.0
科目責任者	中西 唯公			
科目担当者	黄田常嘉、松浦俊弥			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 本科目では、小児期に発症する主な疾患の基礎的知識を学び、慢性的疾患の罹患から生じる身体的・心理的・社会的側面への影響を理解した上で、症状を緩和する看護だけでなく、病弱者である児童生徒とその保護者に応じた教育的支援について考える。適宜、グループワークなどを取り入れながら、特別支援教育の分野でよくみられる主な疾患や障害の病態生理とその治療、健康管理が必要な小児に対する指導や支援のあり方について理解を深めることを目的としている。</p> <p>【授業の到達目標】 1．特別支援学校における代表的な疾患の基礎知識と治療方法の概要が理解できる。 2．慢性的な疾患を持つ児童生徒の身体的、心理的、社会的影響が理解できる。 3．児童生徒と保護者に対する教育上の指導や配慮を理解し、特別支援学校の教育の役割について考えることができる。 4．児童生徒とその保護者が暮らしやすい社会の実現に向けて、自らの考えを深めることができる。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1．特別支援学校における代表的な疾患の基礎知識と治療方法の概要を説明できる（定期試験、レポート） 2．慢性的な疾患を持つ児童生徒の身体的、心理的、社会的影響が説明できる（レポート） 3．児童生徒と保護者に対する教育上の指導や配慮を理解し、特別支援学校の教育の役割について述べることができる（定期試験、レポート） 4．児童生徒とその保護者が暮らしやすい社会の実現に向けて、自らの考えを述べることができる（定期試験、レポート）</p> <p>【成績評価の方法】 平常点（グループワーク参加状況を含む）（30％）、レポート（20％）、定期試験あるいは最終課題レポート（50％）を総合して評価する。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 ・特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 ・定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う</p> <p>【テキスト・参考書等】 1．飯野順子 他 編：特別支援教育ハンドブック、東山書房、2014 2．特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 3．特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 4．特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 5．特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 6．特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） ・参考書であり、授業中は適宜参考資料を配付する。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：黄田 常嘉 Email：ota@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 月曜日 4限、木曜日 2限 場所：1号館2階1216室</p>			
備考				

<p>【学修時間】 この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 この科目では、医療現場において看護師、保健師として経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。</p> <p>【その他】 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（中心領域：病、含む領域：知・肢）</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の看護を学ぶ意義、病弱者、身体虚弱とは ・授業計画を提示し、本科目の内容や到達目標を知り、病弱者の看護を学ぶ意義について学習する。 ・病弱者、身体虚弱の概念について学習する。 【授業方法】 ・授業計画を配布し、プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・病弱者の看護学を学ぶ意義や看護について解説する。 ・病弱者や身体虚弱に概念・提議について解説する。</p>	<p>（復習：3時間） 病弱者の心理・生理・病理を学ぶ意義、病弱者・身体虚弱の概念、具体的な疾患について整理する。</p>
2	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の心理・行動とその影響（1）子どもの健康・病気の認識と発達 ・病弱者の心理・行動とその影響について学習する。 【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・発達理論を基にして、小児の病気の認識と発達過程および支援への適用を解説する。</p>	<p>（予習：2時間） ピアジェの認知発達理論、エリクソンの心理発達理論について調べる。 （復習：2時間） ピアジェの認知発達理論とエリクソンの心理発達理論が子どもの病気の理解への適用についてまとめる。</p>
3	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の心理・行動とその影響（2）病気や入院が子どもと家族に与える影響 ・病弱者の心理・行動とその影響について学習する。 ・病気や入院が子どもや家族に与える影響について視覚教材から考える。 【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・視覚教材を提示し、子どもと保護者の視点から、生活にどのような影響が起こるかを考えさせる。</p>	<p>（予習：2時間） 子どもの病気や入院は、子ども自身や家族にどのような影響を与えるのか、自分自身や周囲の人達の経験から考えをまとめておく。 （復習：3時間） グループワークの中でメンバーから出された意見を整理する。</p>

4	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の心理・行動とその影響（3）病気や入院が子どもと家族に与える影響 ・病弱者の心理・行動とその影響について学習する。 ・グループワークの発表から、個人で考えたことや気づいたことを共有し、幅広い視点に気づく。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める ・グループごとに気づいた内容を発表させ、補足・解説を行う。</p>	<p>（予習：3時間） グループワークでまとめた意見を発表できるように準備する。 （復習：2時間） 他のグループから提示された意見なども参考にしながら、子どもの病気や入院は、子ども自身や家族にどのような影響を与えるのか、自分自身の考えを深める。</p>
5	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：外来、入院、在宅における子どもの実際（1）-外来- ・外来受診と日常の家庭や学校における支援のあり方について学習する。 ・外来の役割と学校との連携について学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・小児外来の特徴や学校との連携について解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 自分が病院受診をした時を思い出し、病院受診するまでの流れや外来のイメージをまとめておく。 （復習：2時間） 小児外来が果たす役割と学校での支援のポイントについてまとめる。</p>
6	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：外来・入院・在宅における子どもの実際（2）-入院- ・入院中や退院後の学校での支援のあり方について学習する。 ・入院の役割と入院による子どもと保護者のストレスについて学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・小児病棟の特徴や入院によるストレスについて解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 入院経験がある者は自分の入院経験についてまとめ、ない者は身近な入院経験者の話を聞き、困ったことなどをまとめておく。 （復習：2時間） 入院生活が及ぼす子どもや保護者へのストレスについてまとめ、学校での支援のポイントについてまとめる。</p>
7	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：外来・入院・在宅における子どもの実際（3）-在宅療養、先天異常を持つ子どものケア ・先天異常を持つ子どもの特徴とその医療的ケアについて学習する。 ・在宅療養を受ける子どもと学校での対応について学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・在宅療養児の状況と生活について解説する。 ・先天異常を持つ子どもの看護について解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 先天異常の子どもを持つ親の心理（先天異常をもつ子どもの誕生に対する親の反応や障害の受容）について調べておく。 （復習：2時間） 先天異常をもつ子どもと家族への学校での支援のポイントについてまとめる。</p>

8	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の生理・病理とその支援（1）神経系 ・脳性麻痺などの重度重複疾患、筋・神経疾患、二分脊椎、進行性筋ジストロフィー、脳性麻痺の生理や病理について学習する。 ・特別支援学校での支援や教育的配慮について学習する。 【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・脳性麻痺などの重度重複疾患、筋・神経疾患、二分脊椎、進行性筋ジストロフィー、脳性麻痺の特徴と学校での支援の実際について解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 子どもの神経疾患神経系障害にはどのような病気があるのか調べておく。 （復習：2時間） 二分脊椎、進行性筋ジストロフィー、脳性麻痺の疾患の特徴についてまとめる。</p>
9	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の生理・病理とその支援（2）呼吸器系、腎系、内分泌系 ・呼吸器疾患、腎疾患、内分泌疾患の特徴について学習する。 ・特別支援学校での支援や教育的配慮について学習する。 【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・代表的な呼吸器疾患、腎疾患、内分泌疾患である小児気管支喘息、ネフローゼ症候群、小児糖尿病の生理や病理と学校での支援の実際について解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 小児の呼吸器疾患、腎疾患、内分泌疾患にはどのような病気があるのか調べておく。 （復習：2時間） 小児気管支喘息、ネフローゼ症候群、小児糖尿病の特長についてまとめる。</p>
10	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の生理・病理とその支援（3）小児がん ・白血病などの悪性腫瘍疾患の生理や病理について学習する。 ・特別支援学校での支援や教育的配慮について学習する。 【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・小児白血病を中心とする小児がんの生理や病理と学校での支援の実際について解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 子どもと大人の癌の種類はどのように異なるのか、また子どもの白血病の特徴と治療方法について調べておく。 （復習：2時間） 小児白血病の病態と治療および副作用、心理社会的支援についてまとめる。</p>

11	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：病弱者の生理・病理とその支援（４） 精神疾患 ・発達障害や統合失調症、心身症などの精神疾患の生理や病理について学習する。 ・特別支援学校での支援や教育的配慮について学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める ・発達障害を中心とする精神疾患の生理や病理と学校での支援の実際について解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 子どもの精神疾患の現状について調べておく。 （復習：2時間） 子どもの心身症や発達障害とその支援体制についてまとめる。</p>
12	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：子どもによく見られる症状と対応（１） 児童生徒の発達段階と症状 ・子どもの心身の発達の特徴から発生しやすい発熱・痙攣・呼吸困難・下痢・嘔吐・脱水などの症状について学習する。 ・グループワークを行い、その症状の生理や病理、対応について学習する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める ・児童生徒の発達段階の特徴と症状の関連について解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 小児期に出現しやすい症状を病気との関連の中で考え、対応について調べておく。 （復習：3時間） グループ学習でまとめた学習内容を発表資料として作成しておく。</p>
13	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：子どもによく見られる症状と対応（２） 各症状に対する具体的ケア ・子どもの心身の発達の特徴から発生しやすい発熱・痙攣・呼吸困難・下痢・嘔吐・脱水などの症状について学習する。 ・それぞれの症状の事例について、学校でどのような対応が必要であるかを考察する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・学校で対応する場合の早期発見・感染予防、救急処置などの留意点について解説する。</p>	<p>（予習：3時間） 課題に基づき、グループ発表の準備をしておく。 （復習：2時間） 小児期に出現しやすい症状を病気との関連の中で考え、学校における対応について整理する。</p>

14	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：子どもの権利擁護-子どもの権利、虐待の現状と課題 ・子どもが保証されるべき権利について学習する。 ・児童虐待の現状について知り、学校教育が果たすべき役割について考察する。</p> <p>【授業方法】 ・プリントとスライドを用いて講義を進める。 ・子どもの権利を保障するための法律等について解説する。 ・疾患の治療などに伴う説明・同意など子どもの権利に配慮した対応のありかたについて解説する。</p>	<p>(予習：2時間) 医療におけるインフォームドコンセント(IC)とは何か、小児医療におけるICの考え方、子どもの権利等について調べる。</p> <p>(復習：3時間) 小児医療におけるインフォームドコンセントのあり方や必要性、長期療養児を支える心理社会的支援について考える。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】障害者の病理と生理		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（後期）
対象学年	3	3	単位数	2.0
科目責任者	黄田 常嘉			
科目担当者	黄田 常嘉			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 特別支援学校教諭および養護教諭として、信頼される人物となれるような、知識、資質、考え方を身に付ける。医療スタッフと、障害者医療についての事案をコミュニケーションがとれるようになる。 特別支援学校教諭および養護教諭となるにあたって、必要な知識を、スライド提示、配布した資料をもとに解説する。講義は、精神遅滞、運動障害、てんかん、そして精神障害の順に進めていく。特別支援学校教諭として必要な医療的知識（てんかん発作時の対応、意識障害の鑑別、救急心肺蘇生）については、実技実習を行う。科目責任者 黄田 常嘉 は、精神科医師として、診療活動、産業医業務の経験を有している。その経験を活かしながら、精神科医療、精神保健における実践的な講義内容を展開する。</p> <p>【授業の到達目標】 1．特別支援学校で勤務するに当たって必要な医学的知識を獲得する。 2．適切な対応や処置ができるよう、実践的な知識も獲得する。 3．障害者を取り巻く社会環境、法律などについても学び、自身の認識を新たにする。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1．知的障害、運動障害、てんかん、精神障害の基本的な知識を有している。（定期試験） 2．障害者の心理、家族の心理について理解できる。（定期試験） 3．先天性の知的障害、運動障害の成因を理解している。（定期試験）</p> <p>【成績評価の方法】 ・筆記試験（90%）と授業態度・取り組む姿勢（10%）で行う。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 原則として精神保健学を受講しておくこと 特別支援学校では、子どもの生命にかかわる業務が少なくないため、復習も怠らないこと。とくにキーワードに関しては、繰り返し勉強をしておくこと。講義にはスマホなど、インターネットが繋げるツールを持参していただきたい。講義の冒頭に示すキーワード、キーセンテンスを自身の手で調べていただき、関心を高める時間を設ける。講義は「障害者の病理と生理」について最低限の知識を提供するのみである。最も大切なことは、学んだことを自分なりにまとめなおすことである。講義の最後に、自身がさらに興味・関心を持ってまとめる時間を作る。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 教育実習などで2/3以上の出席ができない場合は、個別にレポート課題を課する</p> <p>【テキスト・参考書等】 1．特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 2．特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 3．特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 4．特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 5．特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） 参考書であり、授業中に適宜資料を配布する。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：黄田 常嘉 E-mail：ota@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 日時：月曜日 4限、木曜日 2限 場所：1号館2階1216号室（精神保健学研究室）</p>			
備考				

【学修時間】
この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。

[実務経験のある教員による授業]
科目責任者 柴田 展人は、精神科医師として、診療活動、産業医業務の経験を有している。その経験を活かしながら、精神科医療、精神保健における実践的な講義内容を展開する。

【その他】
特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目
科目：特別支援教育領域に関する科目
施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（中心領域：知、含む領域：肢・病）

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	黄田	【授業内容】 テーマ：オリエンテーション 精神科医である教員の自己紹介 精神医学における障害者支援について 【授業方法】 スライド提示	（予習時間：2時間） 最近の事件、社会的問題などで、障害者に関連したものを調べる。 （復習時間：2時間） キーワード：障害者支援
2	黄田	【授業内容】 テーマ：知的障害の病理と生理（1） 知的障害の定義と分類、病因を理解する。 【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義	（予習時間：2時間） キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 （復習時間：2時間） キーワード：軽度、中等度、重度、最重度 精神遅滞、知能指数
3	黄田	【授業内容】 テーマ：知的障害の病理と生理（2） 知的障害の原因となる疾患をひとつひとつ学ぶ。 【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義	（予習時間：2時間） キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 （復習時間：2時間） キーワード：ダウン症候群、脆弱X症候群、水頭症
4	黄田	【授業内容】 テーマ：知的障害の病理と生理（3） 知的障害の脳科学について学ぶ。 【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義	（予習時間：2時間） キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 （復習時間：2時間） キーワード：プランニング、注意の抑制機能・シフティング・ワーキングメモリ
5	黄田	【授業内容】 テーマ：発達障害（1） 発達障害の歴史と症状、分類を理解する。 F8 自閉症 アスペルガー障害 学習障害 【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義	（予習時間：2時間） キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 （復習時間：2時間） キーワード：広汎性発達障害（自閉症スペクトラム障害）、アスペルガー症候群、高機能広汎性発達障害、学習障害

6	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：小児期における精神障害 行為障害や小児に発症する情緒障害を理解する。 F9 ADHD 小児の情緒、行動の障害</p> <p>【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義</p>	<p>(予習時間：2時間) キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 (復習時間：2時間) キーワード：ADHD チック症、行為障害</p>
7	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：運動障害の病理と生理 (1) 運動障害の病理と生理(2) 運動障害の病理と生理(3) 中枢神経の病気や障害について理解する。 筋肉が萎縮する病気や障害について理解する。 骨や関節の病気、脊髄や脊椎の病気について理解する。</p> <p>【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義</p>	<p>(予習時間：2時間) キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 (復習時間：2時間) キーワード：進行性筋ジストロフィー、重症筋無力症、ポリオ、胎児性軟骨形成不全、ペルテス病、脊椎側彎症</p>
8	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：てんかんの病理と生理 (1) てんかんの歴史、病因、疫学、分類について理解する。また、てんかん発作時の正しい対応や、治療と対応について理解する。</p> <p>【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義</p>	<p>(予習時間：2時間) キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 (復習時間：2時間) キーワード：てんかん、脳波検査、原因、抗てんかん薬、副作用、コンプライアンス、運転免許、学校行事、重積状態</p>
9	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：てんかん発作時の意識障害 意識障害の鑑別、心肺蘇生の習得、AED</p> <p>【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義、シミュレーターを用いた実習・実技</p>	<p>(予習時間：2時間) キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 (復習時間：3時間) キーワード：てんかん、脳波検査、JCS、心肺蘇生法、AED</p>
10	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：知的障害・発達障害の知能検査(WISCについて)</p> <p>【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義 WISCを受けて、理解を深める。</p>	<p>(予習時間：2時間) WISC検査について</p> <p>(復習時間：2時間) キーワード：WISC検査の各項目の意味</p>
11	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：知的障害・発達障害の知能検査(幼児期生理学的検査法について)</p> <p>【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義</p>	<p>(予習時間：2時間) 生理学的検査法について</p> <p>(復習時間：2時間) キーワード：アセスメントの意味</p>

12	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：知的障害・発達障害と薬物療法（抗精神病薬について） 【授業方法】 配布資料、スライド提示による講義</p>	<p>（予習時間：2時間） キーワードをインターネットなどで興味を持ち、検索する。 （復習時間：3時間） キーワード：薬物療法、抗精神病薬</p>
13	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：まとめ 1精神科医である教員の雑感に耳を傾ける 学校教育における偏見、差別について考える 【授業方法】 スライド提示による講義</p>	<p>（予習時間：2時間） 特別支援学校における諸問題を考える。 障害者の子供を持つ親の心の理解を深める。 （復習時間：3時間） キーワード：差別</p>
14	黄田	<p>【授業内容】 テーマ：授業総括 テスト対策 【授業方法】 スライド提示による講義</p>	<p>（復習時間：4時間） 授業まとめ</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】肢体不自由者指導法		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	3	3	単位数	2.0
科目責任者	飯嶋 正博			
科目担当者	飯嶋 正博			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 今、障害者差別解消法の制定により、基礎的・環境整備と合理的配慮が教育にも求められ、インクルーシブ教育システムの構築のための実践力が教員には求められている。この授業科目では、肢体不自由者の教育・支援のためには「肢体不自由者の心理」で学んだ知識を活かして、より実践的に教育・支援が出来るようになる必要がある。そのために、障害を持つ人とのかかわり方ややり取りの仕方を理解し、その技術を習得し、さらに各種教育・支援技術も学び、各種の指導計画の作成・実践ができるようになる。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 障害の有無にかかわらず、コミュニケーションをとることができる。 2. 肢体不自由者（身体障害者）を中心に、身体的・運動的発達、各種発達の特徴と実態を把握し、説明できる。 3. 教育・支援に必要な各種技法を説明でき、簡単な基礎的技術を実践できる。 4. 各種指導計画や授業指導案の作成ができる。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1. 講義内容を理解し、ノートに記載できる。（平常点・レポート） 2. 自ら内容を整理し、より深く調べたり、考えたりしたことノートに記載できる。（平常点・レポート） 3. 習得した知識や理解を説明できる。（定期試験） 4. 基礎的な教育・支援のための技術が実践できる。（平常点）</p> <p>【成績評価の方法】 1. 平常点（講義中のノートの記載と、予習・復習で行われるノート整理・課題レポートの記載）30% 2. 定期試験（出題への知識・理解、さらにその実践的対応力）70% 3. 両者の合計100%のうち、60%以上で合格点とする。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 1. 「肢体不自由者の心理」を受講していることが望ましい。 2. 自分自身のノートを用いても構わないが、独自に作成されたアクティブ・ラーニング・ノートに基づいて受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 1. アクティブ・ラーニング・ノートは、定期試験直前に提出し、評価点を付けて試験後に返却される。 2. 定期試験では、実技試験を行わず、筆記試験の実験想定設問への解答で評価される。</p> <p>【テキスト・参考書等】 1. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 2. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 3. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 4. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 5. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） 6. 生徒指導提要（平成22年 文部科学省）</p> <p>随時、独自に作成された資料を配布し、その中で出典や、参考書を紹介する。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当： 飯嶋正博 E-mail：mijima@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 日時：水、木、金曜日の昼休み12:30から 場所：1号館2階 心身障害心理学研究室(1212) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p>			
備考				

<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習の60時間の合計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 この科目は指導法であるため、講話のみでは理解を深めることが難しいので、視聴覚教材を多用し、実践的な演習も加わるため、5感、各種心情に訴えることがある。</p> <p>特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：肢、含む領域：知・病）</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ-
1	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：オリエンテーション 本授業の目的および目標の解説をし、授業の進め方、特にアクティブ・ラーニング・ノートの活用について説明する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に説明し、後半は視聴覚教材を視聴後に各種話し合いを行う。</p>	<p>（復習：4時間） アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。新聞、各種ニュース、雑誌などで「身体障害」について関連する記事を調べる。</p>
2	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：肢体不自由者教育 今日の肢体不自由者教育の現状を説明する</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に説明し、後半は視聴覚教材を視聴後に各種話し合いを行う。</p>	<p>（予習：2時間） 今の教育での問題点、「改定学習指導要領」について調べる。</p> <p>（復習2：時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
3	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：指導計画の作成 教育・支援を行う上で重要な各種指導計画と授業の指導案作成について説明する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>（予習：2時間） 「肢体不自由者の生活」について調べる。</p> <p>（復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
4	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ：教材研究1、人の身体活動1 人の胎児行動から乳幼児までの身体・運動発達を解説し、運動・認知の発達の基礎について説明する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に説明し、後半は視聴覚教材を視聴後に各種話し合いを行う。</p>	<p>（予習：2時間） 「出生前診断」について調べる。</p> <p>（復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>

5	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:教材研究2、人の身体活動 2、 児童期から成年後までの身体・運動の発達を解説し、日常生活や教育支援に及ぼす影響を解説する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に説明し、後半は視聴覚教材を視聴後に各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「健康運動指導」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
6	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:支援法1 介助と介護 肢体不自由者への介護・介助に関する基礎的な配慮、技術について解説する。主に日常生活支援に関する行動を対象とする。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料と視聴覚教材を用いて解説したあと、後半では簡単な介助・介護法などを体験し、その後各種話し合う。</p>	<p>(予習:2時間) 「医療・介護事故」などについて調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
7	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:医療的ケア 教育に導入された医療的ケアについて解説する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に解説し、後半では視聴覚教材を用いて、教育現場での実践を紹介し、各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「医療的リハビリテーション」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
8	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:支援法2 体育教科指導 肢体不自由児の学校での体育の教科指導を行う際の実践とその工夫と留意事項などを解説する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に解説し、後半では視聴覚教材を用いて、教育現場での実践を紹介し、各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「特別支援学校の運動会」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
9	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:支援法3、アダプテッド・スポーツ 肢体不自由者のスポーツについて解説し、その実際とその際の配慮や工夫について説明する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に解説し、後半では視聴覚教材を用いて、教育現場での実践を紹介し、各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「東京2020パラリンピック」について調べる。 (復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>

10	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:支援法4 日常生活指導と他の教科指導 身辺自立を促すための日常生活と他の教科、作業学習を解説し、児際の様子とその際の配慮と工夫について説明する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料と視聴覚教材を用いて解説し、後半は一部演習形式で指導体験を行い、各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「コンピューターを用いた学習」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
11	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:支援法5 自立活動1 特別支援学校で行われている自立活動について、変遷、目標、内容について解説する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に解説を行い、後半は視聴覚資料を用いて、学校での実際の様子を紹介し、各種話し合いをおこなう。</p>	<p>(予習:2時間) 「学習指導要領解説の自立活動編」を読むこと。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
12	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:支援法6 自立活動2 実際に特別支援学校で用いられている自立活動の技法について解説する。特に、「身体の動き」を支援するために用いられている「動作法」などについて解説する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料や視聴覚教材を用いて解説し、後半では一部演習形式で実際に指導技法を体験する。その後各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「心理リハビリテーション」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>
13	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:自立活動3 自立活動の「コミュニケーション」で用いられている技法などについて解説する。特に、「マカトン法」などを中心に手話等のサインを活用した方法を説明する。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料や視聴覚教材を用いて解説し、後半では一部演習形式で実際に指導技法を体験する。その後各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「手話」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見つけて、まとめる。</p>

14	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:キャリア教育 授業全体を通じて、実際の授業指導案の作成、さらに個別の指導計画、卒業後の就労を考えた教育支援計画の作成を実際に行う。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料をもとに、仮想事例を解説し、後半では実際に各種指導案を作成し、その後各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 今までの講義を踏まえて、ノートを整理する。</p> <p>(復習:6時間) ALNに従って、授業をまとめるのみならず、今回の作成中の各種指導計画、指導案を完成させる。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】病弱者指導法		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	3	3	単位数	2.0
科目責任者	松浦 俊弥			
科目担当者	松浦 俊弥			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 病弱の子ども教育はどのようなものであるか、その制度的・歴史的背景、病気の種類の変遷、病弱教育の意義、これからの病弱教育の課題について学び、特別支援教育の観点から病気の子ども教育における指導内容の基礎理解を図るとともに、その指導法について学ぶ。 この授業では、病弱教育の意義、教育制度、教育課程の内容と編成、病弱教育における重複障害児の指導、病弱教育におけるICT活用、病弱児の心理、家族・病院・前籍校との連携と支援、病弱教育の課題とこれからの展望について、具体的事例を通して学ぶ。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病弱児の教育がどのような場で、どのような形態で行われているかについて説明できる。 2. 病弱教育の指導法、病気への自己管理支援について正しく理解できる。 3. 教育支援場面での具体的な考え方、方法を記述できる。 4. 病弱教育の概要を説明できる。 			
成績評価	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病弱教育の対象と内容、方法について正しく理解することができる。（定期試験、レポート） 2. 病弱児への支援について、内容と具体的方法を説明することができる。（定期試験、レポート） 3. 質問や発言の回数、内容等、学習や授業への積極性、主体性を評価する。（平常点） <p>【成績評価の方法】</p> <p>1.平常点：30% 2.レポート：20% 3.定期試験：50% 計100%</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 「障害者教育総論」「障害者の病理と生理」「発達障害と重度・重複障害者の教育」「障害者の進路支援」「障害者の看護」の科目を受講していることが望ましい。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「チームで育む病気の子ども」 松浦俊弥編著 北樹出版 2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 3. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 4. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 5. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 6. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） 			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：松浦 俊弥 E-mail：tmatsu@soc.shukutoku.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 ・授業時間後、非常勤講師控室で受ける。</p>			
備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 特別支援学校教諭、管理職としての勤務経験に基づき、病弱者の指導に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。</p> <p>【その他】 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：病、含む領域：知）</p>			
授業計画	【授業内容と準備学修等】			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）	

1	松浦	<p>【授業内容】</p> <p>1 オリエンテーション</p> <p>1) 授業の目標</p> <p>2) 授業の内容</p> <p>3) 受講のルールについて</p> <p>2 病弱教育概観</p> <p>特別支援教育の現状と病弱教育について</p> <p>【授業方法】</p> <p>教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>(復習：2時間)</p> <p>授業内容の復習を行い、次回の小テストに備える。</p>
2	松浦	<p>【授業内容】</p> <p>テーマ：病弱教育の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病弱教育の対象 ・病弱教育を実施する学校 ・法制度等 <p>【授業方法】</p> <p>教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>学校教育法に定められている「病弱教育の対象」に関する規定を読み、病弱児とはどういう子どもたちかを調べておく。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けて指定されたテキストのページをしっかりと学習しておく。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめて提出する。</p>
3	松浦	<p>【授業内容】</p> <p>テーマ：病弱教育の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病弱教育が誕生した歴史的背景 ・現代の病弱教育 ・今後の課題 <p>【授業方法】</p> <p>教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>テキストを通じて病弱教育が誕生した歴史的背景を学んでおく。小テスト(予習復習確認テスト)に向けて指定されたテキストのページをしっかりと学習しておく。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめて、期日までに提出する。</p>
4	松浦	<p>【授業内容】</p> <p>テーマ：病弱教育の内容(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病弱教育の位置づけ ・学習指導要領について ・病弱教育の教育課程について <p>【授業方法】</p> <p>教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>病弱教育の内容や指導方法等についてテキストから学んでおく。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けてしっかりと学習しておく。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめて、期日までに提出する。</p>
5	松浦	<p>【授業内容】</p> <p>テーマ：病弱教育の内容(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病弱教育の授業について(ICTを活用した授業など) ・病弱教育の自立活動について <p>【授業方法】</p> <p>教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>病弱教育の自立活動のあり方についてテキストを通じて学ぶ。また小テスト(予習復習確認テスト)に向けて重要事項をしっかりと学習しておく。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめて、期日までに提出する。</p>

6	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱教育の内容（3） ・小中学校や高校等にいる病気の子どもへの支援について</p> <p>【授業方法】 教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>（予習：2時間） 通常の小中学校や高校にいる病気の子どもたちにどのような支援が必要なのかをテキストから学ぶ。また小テスト（予習復習確認テスト）に向けてしっかり学習しておく。</p> <p>（復習：2時間） 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。</p>
7	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱教育の対象となる病気（1） ・小児喘息などの呼吸器疾患 ・腎臓病 ・筋ジストロフィー</p> <p>【授業方法】 教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>（予習：2時間） 病弱教育の対象となる様々な子どもの病気について基礎的な知識を学ぶ。また小テスト（予習復習確認テスト）に向けてしっかりテキストを学習しておく。</p> <p>（復習：2時間） 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。</p>
8	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱教育の対象となる病気（2） ・悪性新生物</p> <p>【授業方法】 教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>（予習：2時間） 病弱教育の対象となる様々な子どもの病気について基礎的な知識を学ぶ。また小テスト（予習復習確認テスト）に向けてしっかりテキストを学習しておく。</p> <p>（復習：3時間） 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。</p>
9	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱教育の対象となる病気（3） ・心臓病 ・糖尿病 ・その他の病気</p> <p>【授業方法】 教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>（予習：2時間） 心臓病や糖尿病についてテキストを通じて学び、小テストで8割の得点ができるよう準備する。</p> <p>（復習：3時間） 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。</p>
10	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱教育の対象となる病気（4） ・重症心身障害について（医療的ケア）</p> <p>【授業方法】 教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>（予習：2時間） 重症心身障害についてテキストを通じて学び、小テストで8割の得点ができるよう準備する。</p> <p>（復習：3時間） 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。</p>
11	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱教育の対象となる病気（5） ・アレルギー疾患（アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等）</p> <p>【授業方法】 教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>（予習：2時間） 子どものアレルギー疾患についてテキストを通じて学び、小テストで8割の得点ができるよう準備する。</p> <p>（復習：3時間） 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。</p>

12	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱教育の対象となる病気（6） ・子どもの心の病（うつ、摂食障害など）</p> <p>【授業方法】 教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>（予習：2時間） 子ども心の病についてテキストを通じて学び、小テストで8割の点数ができるよう準備する。</p> <p>（復習：3時間） 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。</p>
13	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：病弱教育の対象となる病気（7） ・新しく病弱教育の対象となってきた様々な病気（脳脊髄液減少症など）</p> <p>【授業方法】 教科書を焦点化したスライドを作成し、その資料を穴埋めする方法でアクティブラーニングを進める。</p>	<p>（予習：2時間） 脳脊髄液減少症などの新しい病気についてテキストを通じて学び、小テストで8割の点数ができるよう準備する。</p> <p>（復習：3時間） 授業内容を振り返り、授業の最後に指示されたりアクションペーパーをまとめ、期日までに提出する。</p>
14	松浦	<p>【授業内容】 テーマ：本科目のまとめ ・これまでの復習と試験に関する説明</p> <p>【授業方法】 スライドを作成し、その資料を穴埋めする方法で試験の解説を進める。</p>	<p>（予習：2時間） これまでの講義内容を振り返り、全体を通して病弱教育を学ぶ前の学んだあとの気持ちの変化について言葉にできるよう考えておく。</p> <p>（復習：2時間） 授業の振り返りから試験に向けて準備を進める</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】視覚障害者の教育		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	4	4	単位数	2.0
科目責任者	井口 二郎			
科目担当者	井口 二郎			
授業概要	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目では、視覚障害について、生理学、心理学、社会学、それぞれの側面から多面的に理解するとともに、視覚障害者スポーツの概要から障害のしくみと特性について学習することによって、指導者としての配慮や特別な支援を要する教育方法を学習する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視覚障害のしくみと特性について、整理・解剖・病理学的な基礎知識を修得できる。 2. 視覚障害者の心理特性・行動特性について理解することができる。 3. 視覚障害者を取り巻く社会的背景について学び、受講者自身の行動のあり方について能動的に学習することができる。 4. 視覚障害者スポーツの魅力を深く理解し、それを伝え指導するための知識と技能を修得できる。 			
成績評価	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視覚障害からもたらされる困難の内容を理解し、視覚障害に応じた自立活動の在り方を理解する。（定期試験、レポート） 2. 全盲および弱視の児童生徒の発達に応じた指導法を知り、その特徴について理解する。（定期試験、レポート） 3. 視覚障害による移動の困難、空間概念の形成の難しさ、コミュニケーションの困難を様々な教育方法によって改善することを理解する。（定期試験、レポート） <p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点（20%）、毎時間のレポート（30%）、定期試験（50%）を総合して評価する。 			
履修における留意事項	<p>【履修要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚に障害があることによって学習上、生活上においてどのような困難が予想されるか、考えておく。また、その困難に対してどのような支援ができるか考えておく。 <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間課題を与え、次の時間に採点したものを返却し説明する。 <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「片手で2匹つかんだよ：視覚障害教育を初めて学ぶかたのために」井口二郎、白鷗社 2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 3. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） 4. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 5. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 6. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） <p>2～6は参考書であり、授業中は適宜参考資料を配布する。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：井口 二郎 E-mail：ddzac07800@yahoo.co.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>授業時間前後、非常勤講師控室で受ける。</p>			
備考				

<p>【学修時間】 この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 特別支援学校教諭としての勤務経験に基づき、視覚障害者の教育に関する実践的な内容をわかりやすく解説する。</p> <p>【その他】 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：視、含む領域：/）</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ）
1	井口	<p>【授業内容】 テーマ：視覚障害教育の概要 「盲学校の紹介」のDVDを視聴、視覚障害教育の概要理解、視覚障害教育の歴史 スポーツ解説「ゴールボール」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使っての授業</p>	<p>（復習：2時間） 晴眼児と視覚障害児の行動の違いについて、学習面、生活面についてまとめ、定着を図る。</p>
2	井口	<p>【授業内容】 テーマ：見える仕組み（視覚障害の病理）眼球図の描写、眼球内各部の役割、眼疾、スポーツ解説「グランドソフトボール」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使っての授業</p>	<p>（予習：2時間） 日常生活の中で見えなくて困ることは何かを箇条書きにし、授業に備える。 （復習：2時間） 眼球図をフリーハンドで描けるようにする。</p>
3	井口	<p>【授業内容】 テーマ：見える仕組み（視覚障害の生理） 視機能の種類とその役割、スポーツ解説「フロアバレーボール」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使っての授業</p>	<p>（予習：2時間） テキストを読み、疑問点を把握する。 （復習：2時間） 視機能の障害からもたらされる困難をまとめ、定着を図る</p>
4	井口	<p>【授業内容】 テーマ：教科学習 国語・社会・算数の指導法、レーザーライターの使用法 スポーツ解説「サウンドテーブルテニス」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使っての授業。レーザーライターを使って文字を書く。</p>	<p>（予習：2時間） 視覚に障害があることで教科指導にどのような工夫が必要かをまとめ、授業に備える。 （復習：2時間） 授業において補助具がどのように使われているかをまとめ、定着を図る。</p>
5	井口	<p>【授業内容】 テーマ：教科学習 前時以外の教科学習の指導法、スポーツ解説「ブラインドテニス」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料及びDVDを使っての授業</p>	<p>（予習：2時間） 視覚障害者はどのようなスポーツを行っているのか関連図書などで調べて、授業に備える。 （復習：2時間） これまでに行われている視覚障害者スポーツのほかにはどのようなものが考えられるか自分なりに考え、その特徴をまとめる。</p>

6	井口	<p>【授業内容】 テーマ：発達 初期の発達、発達に及ぼす影響 スポーツ解説「ブラインドテニス」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料 及びDVDを使っての授業</p>	<p>(予習：2時間) 視覚障害児が成長するにつれて、生活する上でどのような不自由があるかまとめておく。 (復習：2時間) 生活上最も課題になる発達について、課題解決のために必要な指導は何かまとめることで定着させる。</p>
7	井口	<p>【授業内容】 テーマ：空間概念 空間概念の障害、空間概念の形成、 スポーツ解説「ブラインドサッカー」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料 及びDVDを使っての授業</p>	<p>(予習：2時間) 視覚障害における三つの主な困難について関連図書などで調べ、授業に備える。 (復習：3時間) 空間概念が育ちにくい視覚障害児童生徒への指導法についてまとめ、定着を図る。</p>
8	井口	<p>【授業内容】 テーマ：心理特性 全盲児童生徒の心理特性、 スポーツ解説「ブラインドゴルフ」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料 及びDVDを使っての授業</p>	<p>(予習：2時間) パーバリズムについて関連図書などで調べ、授業に備える。 (復習：3時間) 視覚障害児童生徒の心理特性に対応したコミュニケーションのあり方についてまとめ、定着を図る。</p>
9	井口	<p>【授業内容】 テーマ：心理特性 弱視児童生徒の心理特性、 スポーツ解説「柔道」 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料 及びDVDを使っての授業</p>	<p>(予習：2時間) 晴眼児童生徒と弱視児童生徒との生活にどのような違いがあるか、心理的な観点で考え、箇条書きにして、授業に備える。 (復習：3時間) 全盲児童生徒と弱視児童生徒の心理特性の違いが行動にどのように表れるのか箇条書きでまとめ、定着を図る。</p>
10	井口	<p>【授業内容】 テーマ：視覚障害体験 全盲状態でグループ討議、2～3人で折り紙体験 【授業方法】 全盲体験をし、視覚からの情報がないと学習上どのような困難が予想され、それに対してどう対処してよいか話し合う。</p>	<p>(予習：2時間) 視覚情報が不足している児童生徒は学校生活においてどんな場面で困難を感じるかまとめ、授業に備える。 (復習：3時間) 相手の顔が見えないところでの話し合いにおいての困難は何か。また、見えない中での手先の動きは見えるときとどう違ったかまとめておく。</p>
11	井口	<p>【授業内容】 テーマ：自立活動 視覚障害教育における自立活動の内容、視覚障害からもたらされる困難への対応 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料 及びDVDを使っての授業</p>	<p>(予習：2時間) 自立活動の6区分27項目について内容を調べておく。 (復習：3時間) 授業で示した自立活動の内容以外にどのような内容が適当か図書館等で調べるなどして定着を図る。</p>
12	井口	<p>【授業内容】 テーマ：教育方法 歩行指導 【授業方法】 テキスト、パワーポイント資料 及びDVDを使っての授業</p>	<p>(予習：2時間) 予めテキストを読み、歩行に関する関連事項を図書館等で調べて授業に備える。 (復習：3時間) 弱視と全盲の歩行指導の違いについてまとめ、定着を図る。</p>

13	井口	<p>【授業内容】 テーマ：点字 点字指導（読み） 【授業方法】 テキストを使い、点字を読む練習をする。</p>	<p>（予習：2時間） 普段の生活の中で、点字表記のある物、ある場所などを探し、そこにある理由を考えて授業に備える。 （復習：2時間） 点字課題に取り組む。</p>
14	井口	<p>【授業内容】 テーマ：点字 点字指導（書き） 【授業方法】 テキストを使い、点字を読む練習をする。</p>	<p>（予習：2時間） 点字規則についてあらかじめテキストを読んで理解しておく。 （復習：2時間） 点字課題に取り組む。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】聴覚障害者の教育		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（後期）
対象学年	4	4	単位数	2.0
科目責任者	須藤 正彦			
科目担当者	須藤 正彦			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 これまでの聴覚障害教育と現代の当該教育の課題について解説する。それらの知識のみならず、障害があっても一般の教育環境で学修することが可能となるための諸条件(健常者の理解、情報保障技術、指導者のコミュニケーション力向上等)を将来指導者となる受講生自身の問題として捉えることを授業の到達目標とする。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障害の種類や聴覚障害教育の概略を説明できる。 2. 現代の聴覚障害教育の課題について論じることができる。 3. 聴覚障害者が一般の教育環境で学修を行なえるための諸条件を説明できる。 			
成績評価	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障害の種類や聴覚障害教育の概略を説明できる。（平常点・定期試験） 2. 現代の聴覚障害教育の課題について論じることができる（平常点・定期試験） 3. 一般教育環境下における聴覚障害者の学修について、必要となる条件を説明できる（平常点・定期試験） <p>【成績評価の方法】 出席・課題等発表20%、筆記試験80%にて評価する。 筆記試験（聴覚障害の理解、教育場面における障害のある児童・生徒への配慮について）の解答結果と出席・取組状況を基に評価する。特に伝音性難聴と感音性難聴の違い、新生児スクリーニング検査、聴覚に障害のある人とのコミュニケーション方法など基本的事項の理解がなされているかを単位認定の基準とする。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 授業中は私語を慎み、欠席が事前に分かる場合は欠席届を提出すること。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 必要に応じてフィードバックする。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 2. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 3. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 4. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 5. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に適宜資料を配布する。 ・参考書・文献等は授業内で紹介します。 			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：須藤 正彦 E-mail：suto@a.tsukuba-tech.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 日時：後期期間中の月曜日15:30～16:30 場所：非常勤講師控室</p>			
備考				

【学修時間】この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。

【実務経験のある教員による授業】

該当しない

【その他】

特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目

科目：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目

施行規則に定める科目区分又は事項等：・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目

・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：聴、含む領域：/）

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -
1	須藤	【授業内容】 テーマ：聴覚と音声（聴覚障害の病理） 聴覚と音声の機能について理解を深める。 【授業方法】 グループ毎に討論させる。	（予習：2.5時間） 聞く・話す行為のメカニズム （復習：2.5時間） 聞く・話す行為のメカニズム
2	須藤	【授業内容】 テーマ：聴覚障害、言語障害（聴覚障害の生理） 聴覚・言語障害について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。	（予習：2.5時間） 聴覚障害・言語障害とは （復習：2.5時間） 聴覚や言語障害の機序
3	須藤	【授業内容】 テーマ：コミュニケーション 聴覚障害とコミュニケーションについて理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。	（予習：2.5時間） コミュニケーションとは （復習：2.5時間） 聴覚障害とコミュニケーションについて
4	須藤	【授業内容】 テーマ：聴覚障害補償 聴覚障害補償（補聴器、人工内耳、手話）について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。	（予習：2時間） 補聴器と手話について （復習：2時間） 聴覚障害と補償機器について
5	須藤	【授業内容】 テーマ：聴覚障害児への指導 聴覚に障害のある児童の指導 【授業方法】 グループ討論を加える。	（予習：2時間） 聴覚活用とは （復習：2時間） 聴覚障害の補償
6	須藤	【授業内容】 テーマ：生徒理解（聴覚障害者の心理） 聴覚に障害のある生徒の指導について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。	（予習：2時間） 思春期の障害認識について （復習：2時間） 障害受容について
7	須藤	【授業内容】 テーマ：聴覚障害教育の歴史（1） 戦前の歴史について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。	（予習：2時間） 障害者の差別について （復習：2時間） 戦前の日本の聴覚障害教育

8	須藤	<p>【授業内容】 テーマ：聴覚障害教育の歴史（2） 戦後における歴史について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。</p>	<p>（予習：2時間） 戦後の民主化と教育について （復習：2時間） 戦後の聴覚障害教育の遷移</p>
9	須藤	<p>【授業内容】 テーマ：国際動向 海外の聴覚障害教育（英国、スペイン、仏国、米国等）について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。</p>	<p>（予習：2時間） 英国、スペイン、米国等の歴史 （復習：2時間） 西欧、日本を含むアジアの聴覚障害教育</p>
10	須藤	<p>【授業内容】 テーマ：聴覚者の国内の高等教育 聴覚障害者の高等教育について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。</p>	<p>（予習：2時間） 筑波技術大学のホームページを閲覧 （復習：2時間） 聴覚障害者の高等教育への進学について</p>
11	須藤	<p>【授業内容】 テーマ：聴覚者の海外の高等教育 海外の聴覚障害者の高等教育について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。</p>	<p>（予習：2時間） ギャローデット大学について （復習：2時間） 米国、中国、タイ、韓国等での聴覚障害高等教育</p>
12	須藤	<p>【授業内容】 テーマ：聴覚者の就労 聴覚障害者の就労について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。</p>	<p>（予習：2時間） 聴覚障害者が職場で苦勞する事について （復習：2時間） 職場での配慮事項を考える。</p>
13	須藤	<p>【授業内容】 テーマ：ろう者のアイデンティティ （聴覚障害者の心理） 聴覚の障害とアイデンティティについて理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。</p>	<p>（予習：2時間） ろう者とは何か。 （復習：2時間） ろう者のアイデンティティ</p>
14	須藤	<p>【授業内容】 テーマ：情報保障 一般の教育機関で学ぶ環境・条件について理解を深める。 【授業方法】 グループ討論を加える。</p>	<p>（予習：2.5時間） 情報保障とは何か。 （復習：2.5時間） 聴覚障害が広く理解されるための方策</p>
		<p>定期試験(聴覚障害の理解、教育場面における障害のある児童・生徒への配慮について)</p>	<p>聴覚障害の種類や聴覚障害者への教育方法、一般の教育機関で学ぶために必要な環境・条件等について学習した事柄を纏める。</p>

授業科目名	【新カリ】発達障害と重度・重複障害者の教育		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期）
対象学年	4	4	単位数	2.0
科目責任者	飯嶋 正博			
科目担当者	飯嶋 正博 村上祐介			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】</p> <p>今、障害者差別解消法の制定により、基礎的環境整備と合理的配慮が教育に求められ、インクルーシブ教育の構築のための実践力が教員に求められている。この授業では、障害者の教育・支援のために、「肢体不自由者指導法」「知的障害者指導法」で学んだ知識や技法をより活用して、コミュニケーションの難しい発達障害や重度・重複障害者に言語指導を含め、人とのやり取りに役立てることができるようになる。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害者の心理的特徴、行動特性、実態を理解し、言語障害などのコミュニケーション能力を説明することができる。 2. 重度・重複障害者の心理的特徴、行動特性、実態を理解し、言語障害などのコミュニケーション能力を説明することができる。 3. 特別支援学校のみならず、他の教育現場でも基礎的環境整備と合理的配慮ができて、言語指導や人とのやり取りができるように適切な教育・支援活動ができる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義内容を整理し、ノートに記載できる。（平常点、レポート） 2. 自ら内容を整理し、より深く調べたり、考えたりしたことをノートに記載できる。（平常点、レポート） 3. 習得した知識や理解を説明できる。（定期試験） 4. 基礎的な教育・支援のための技法が実践できる。（平常点） <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平常点は、講義中のノートの記載と、予習・復習で行われるノート整理・課題レポートの記載を30% 2. 定期試験による出題への知識・理解、さらにその実践的対応力が70% 3. 両者の合計100%中、60%以上で合格とする。 				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「肢体不自由者指導法」「知的障害指導法」「病弱者指導法」を受講していることが望ましい。 2. 自分自身のノートを用いても構わないが、独自に作成されたアクティブ・ラーニング・ノートに基づいて受講する。 <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブ・ラーニング・ノートは定期試験直前に提出し、評価点を付けて試験後に返却される。 2. 定期試験では、実技試験は行わず、筆記試験の実践想定設問への解答で評価される。 <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 2. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 3. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 4. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） 5. 生徒指導提要（平成22年 文部科学省） <p>随時、独自に作成された資料を配布し、その中で、出典や参考書を紹介する。</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>【連絡先】</p> <p>担当： 飯嶋 正博 E-mail：mijima@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時：水・木・金曜日の昼休み12:30から 場所：1号館2階心身障害心理学研究室(1212) 上記以外でも相談に対応しますが、事前に連絡すること。</p>				
備考				

【学修時間】
この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の合計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。1回の授業時間は100分とする。

【その他】
特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目
科目：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目
施行規則に定める科目区分又は事項等：・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：重複・LD領域等、含む領域：/）

この科目は内容に一部指導法も含まれるため、講話のみでは理解を深めることが難しいので、視聴覚教材を多用し、実践的な演習も加わるため、5感、各種心情に訴えることがある。

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	飯嶋	【授業内容】 テーマ:オリエンテーション 本授業の目的および目標を解説し、授業の進め方、特にアクティブ・ラーニング・ノートの活用について説明する。 【授業方法】 前半は、配布資料を用いて、講義を中心に説明し、後半は視聴覚教材を視聴後に、各種話し合いを行う。	（復習：4時間） アクティブ・ラーニング・ノート(以下ALNと略す)に従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。新聞、各種ニュース、雑誌などで「発達障害」について最新の話題を調べる
2	飯嶋	【授業内容】 テーマ:発達障害 自閉症スペクトラムと言われる、多様な状態像を持つ発達障害の定義や、分類、状態について解説する。特に言語・コミュニケーションの領域について説明する。 【授業方法】 前回と同じ。	（予習：2時間） 「発達障害者支援法」について調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。
3	飯嶋	【授業内容】 テーマ:学習障害 学習障害児の心理的特徴、行動特性、実際の様子を言語発達の課程や文字認知の理解などから解説する。 【授業方法】 前回と同じ	（予習：2時間） 「学級崩壊」について調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。
4	飯嶋	【授業内容】 テーマ:ADHD ADHAの心理的特徴、行動特性、実際の様子を自己コントロールや内言の観点から解説する。 【授業方法】 前回と同じ	（予習：2時間） 「フラストレーション」について調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。
5	飯嶋	【授業内容】 テーマ:アスペルガー症候群 アスペルガー症候群の心理的特徴、行動特性、実際の様子を表情理解や言語表現などから解説する 【授業方法】 前回と同じ	（予習：2時間） 「人見知り」について調べる。 （復習：2時間） ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。

6	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:自閉症 自閉症、高機能自閉症の心理的特徴、行動特性、実際の様子を特殊な才能の開花などから解説する。また、対人的なコミュニケーション問題や、場面や文脈に沿った会話が難しい児童生徒への指導について解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 映画「レインマン」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
7	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:学校教育での教育・支援1 学校教育現場での実際の教育・支援委ついて解説する。</p> <p>【授業方法】 今回は、前半は配布資料と視聴覚教材を用いて、講義を中心に解説し、後半では実際に教育現場で活用されている教材や教具を作成するなどの一部演習を行い、その後各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) ピクトグラムについて調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
8	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:不器用な子どもへの対応 運動、人間関係、心の安定などに不器用さを示す人に対して教育・支援の仕方として活用されている「動作法」について解説する。構音障害の指導や吃音の指導、身体を用いたサイン言語の指導などに活用する。</p> <p>【授業方法】 今回は、前半は、配布資料と視聴覚教材を用いて、講義を中心に解説し、後半では実際に支援で使われている動作法の技法を一部演習形式で体験し、その後各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「不器用」について調べる</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
9	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:重度・重複障害 重度・重複障害者の心理的特徴、行動特性、実際の様子などをノンバーバルの言語から表出行動をとらえ、解説する</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料を用いて講義を中心に解説をし、後半は視聴覚教材を視聴後に、各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 「植物人間」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>

10	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:学校教育での教育・支援2 重度・重複障害児の学校教育現場での実際の教育・支援について解説する。動作法のみならず身体を介した多様な取り組みから主体的な活動、サインの捉え方を解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「医療的ケア」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
11	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:生きがいづくり 障害を持ちながらも、自立を目指し、社会参加へと充実した人生を歩む人を紹介し、そのための教育・福祉の意義を解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「ホーキング博士」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
12	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:家族への支援1 発達障害や重度・重複障害を持つ人の家族の心情やそのための支援について解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「介護」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
13	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:家族への支援2 発達障害や重度・重複障害を持つ人の家族支援として、福祉領域の支援について解説する。</p> <p>【授業方法】 前回と同じ</p>	<p>(予習:2時間) 「ボランティア活動」について調べる。</p> <p>(復習:2時間) ALNに従って、講義を整理し、自ら課題を見出し、まとめる。</p>
14	飯嶋	<p>【授業内容】 テーマ:まとめ 障害者関連の最後の授業となるため、教育実習などへの質問や、これまでの関連授業の補足を行う。</p> <p>【授業方法】 前半は、配布資料や視聴覚教材を用いて、解説するが、後半は質疑応答に時間をとりつつ、各種話し合いを行う。</p>	<p>(予習:2時間) 今までのALNを整理する。</p> <p>(復習:6時間) ALNを整理しつつ、定期試験のために、知識や支援技法等について説明できるように準備する。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】特別支援教育実習（事前事後指導を含む）		授業形態	実習
英語科目名			開講学期	前期
対象学年	3	3・4	単位数	3.0
科目責任者	渡邊 貴裕			
科目担当者	飯嶋正博 村上祐介 尾高邦生 黄田常嘉			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、実習の授業形態で行われる。既に特別支援教育に関する学んだ内容を、実際に特別支援学校での実習を通して、更に深く理解するとともに、教員としての実践的指導力を身に付けるために、その目的や意義を理解し、主体的に実習に参加する態度を養うとともに、学校の特徴、教育課程、児童生徒の発達や障害の特徴、授業計画と学習指導案の作成、指導技法に加え、教師としての必要な姿勢や服務などの知識を深め、教育実習に向かう心構えを高める。事後学習では、実習日誌等を活用しながら、実習での学習指導や生活指導について省察し、グループワークをしながら意見交換し、学びを深めていく。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める、「コミュニケーション力」、「倫理観」ならびに「健康科学分野の専門的な意識と技能」、「健康科学分野の専門的な実践力」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>				
<p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援学校教諭の実際の職務について理解できる。 2. 学校における学校経営及び教育活動の特色について理解できる。 3. 児童生徒の実態把握の仕方と適切な支援・教育の仕方について理解できる。 4. 学校内外の関係機関を知り、よりよい連携の仕方について理解できる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援学校教諭の実際の職務について理解できる（実習日誌、事後レポート等）。 2. 学校における学校経営及び教育活動の特色について理解できる（実習日誌、事後レポート等）。 3. 児童生徒の実態把握の仕方と適切な支援・教育の仕方について理解できる（学習指導案、実習日誌、事後レポート等）。 4. 学校内外の関係機関を知り、よりよい連携の仕方について理解できる（実習日誌、事後レポート等）。 <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事前指導への出席と実習日誌の記録から評価する（10%）。 2. 本実習への出席と実習日誌の記録、研究（精練）授業の実施及び実習校から提出される評価を基に評価する（80%）。 3. 事後指導への出席と体験報告、研究（精練）授業指導案の提出、実習日誌及び事後レポートの提出で評価する（10%）。 				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎免許（保健体育）の実習を終了していること。 2. 「障害者教育総論」、「障害者の病理と生理」、「知的障害者の心理」、「肢体不自由者の心理」を履修し、さらに障害者指導法に関する科目のうち、2科目以上を履修していること。 <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>実習日誌については個別に指導し、本実習終了後に返却する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「教員になろう（教職の手引き）」または「教員免許取得のためのガイドブック」（順天堂大学スポーツ健康科学部） 2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 平成29年4月告示, 2018 3. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚部・小学部・中学部）, 2018 4. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）, 2018 5. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）, 2018 6. 特別支援学校高等部学習指導要領 平成31年2月告示, 2019 <p>・参考書であり、授業中は適宜参考資料を配布します</p>				
連絡先とオフィスアワー				

【連絡先】
 担当： 渡邊貴裕
 E-mail：tkwatana(at)@juntendo.ac.jp
 メールの際は、(at)を@に変更して送信してください。
 【オフィスアワー】
 日時：前期・後期 火曜日13:00～15:00 木曜日13:00～15:00
 場所：1号館2F 1219号（特別支援教育学研究室）

備考

【学修時間】
 この授業は、実習の授業形態による 3単位の科目であり、2単位が教育実習、1単位が事前・事後指導の科目で構成されている。事前指導は4回、事後指導は3回、本実習は10日間とする。授業15時間と準備学習30時間の合計45時間の学修を必要とする内容をもって構成する。

【実務経験のある教員による授業】
 特別支援学校教諭としての業務経験を持つ教員が、教育現場において求められる実践的な指導方法をわかりやすく指導する。

【その他】
 実習校に関しては、個人独自に学校と交渉することはできない。ガイダンスに従って、自己開拓、協力校、一括申請自治体から選出・決定する。

特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目
 科目：特別支援教育に関する科目
 施行規則に定める科目区分または事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習に関する科目（中心領域：肢、知、病）

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	渡邊 柴田 飯嶋 尾高	【授業内容】 テーマ：オリエンテーション 特別支援学校教育実習の位置付けや目的等について学習する 【授業方法】 教育実習についてのVTRを視聴し、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	（予習：2時間） ガイドブックを熟読し、特別支援教育実習を行う要件が整っているかを各自確認する。 （復習：2時間） 特別支援学校教育実習について小レポートにまとめる。
2	渡邊 柴田 飯嶋 尾高	【授業内容】 テーマ：実習校について知る 【授業方法】 自身の実習校の教育課程等について、学習指導要領等で調べる。その後、全体で共有する。	（予習：2時間） 自身の実習校について、障害種、教育課程等をホームページをもとに調べる。 （復習：2時間） 実習日誌の「事前指導の記録」に事前指導で学んだ内容について記載する。
3	渡邊 柴田 飯嶋 尾高	【授業内容】 テーマ：実習への心構え 【授業方法】 特別支援学校教育実習に関する講義を受け、実習への心構えについて個人で考え、その後全体で共有する。	（予習：2時間） ガイドブックの当該ページを熟読し、疑問点等を整理しておく。 （復習：2時間） 実習日誌の「事前指導の記録」に事前指導で学んだ内容について記載する。
4	渡邊 柴田 飯嶋 尾高	【授業内容】 テーマ：実習校での事前指導 実習校での事前指導に出席し、実習計画について確認する。 【授業方法】 実習校での講義を受けた後、実際に配属学年学級に入り、観察等を行う。	（予習：2時間） 大学での事前指導をまとめておく。 （復習：2時間） 実習日誌の「事前指導の記録」に事前指導で学んだ内容について記載する。

5~18	実習校指導教諭等	<p>【授業内容】 実践を通して特別支援学校教員に求められる資質、知識、技術、態度を養う。</p> <p>【授業方法】 各実習校での教育実習（2週間）</p>	<p>（予習：2時間） 特別支援教育実習に必要な技術や知識について実習中に活用できるよう準備する</p> <p>（復習：2時間） 日々の内容を実習日誌に記録し、翌日の実習の準備をする。</p>
19	実習校指導教諭等	<p>【授業内容】 テーマ：研究（精練）授業反省会 研究（精練）授業や実習全体について、振り返り、成果と課題を整理する。</p> <p>【授業方法】 実習校指導教諭や参観教員と授業の展開や授業準備について協議する。</p>	<p>（予習：2時間） 研究授業や2週間の実習について、振り返り、まとめておく。</p> <p>（復習：2時間） 反省会の内容をまとめ、実習日誌の「実習を振り返って」の頁に記載する。</p>
20	渡邊 柴田 飯嶋 尾高	<p>【授業内容】 本実習（4） 本実習：実践を通して特別支援学校教員に求められる資質、知識、技術、態度を養う。</p> <p>【授業方法】 各実習校での教育実習（2週間）</p>	<p>（予習：2時間） 実習を振り返り、学んだことを整理する。</p> <p>（復習：1時間） 実習の学びから、今後、自分自身が身につけるべき内容についてまとめる。</p>
21	渡邊 柴田 飯嶋 尾高	<p>【授業内容】 テーマ：実習のまとめ 特別支援学校実習で学んだことをまとめる。</p> <p>【授業方法】 実習で学んだことをまとめ、発表会を行い、それぞれの実習経験に学びについての情報交換を行う。</p>	<p>（予習：2時間） 実習を振り返り、学んだことをレポートにまとめる。</p> <p>（復習：2時間） 他者の発表から気づいたことも含めて、実習日誌の「事後指導の記録」の頁にまとめる。</p>
		定期試験を実施しない。	